

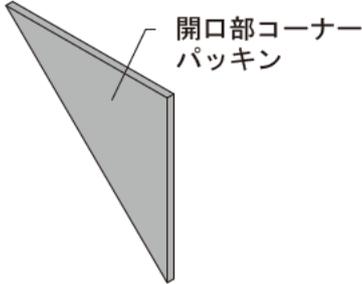
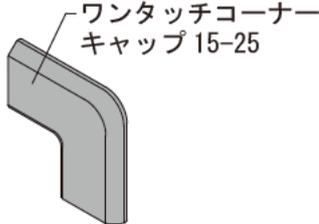
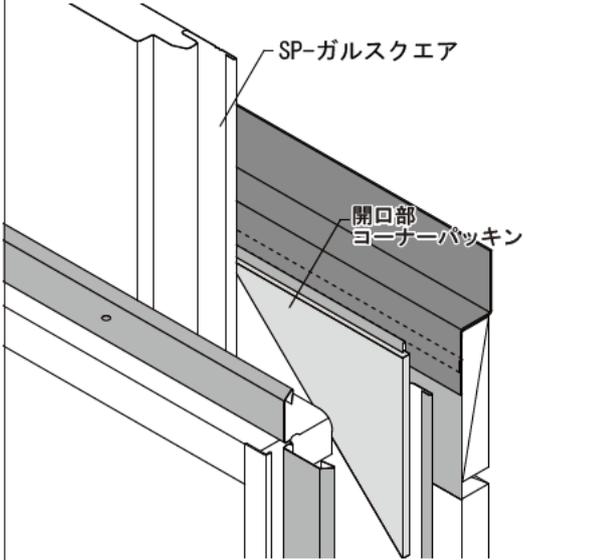
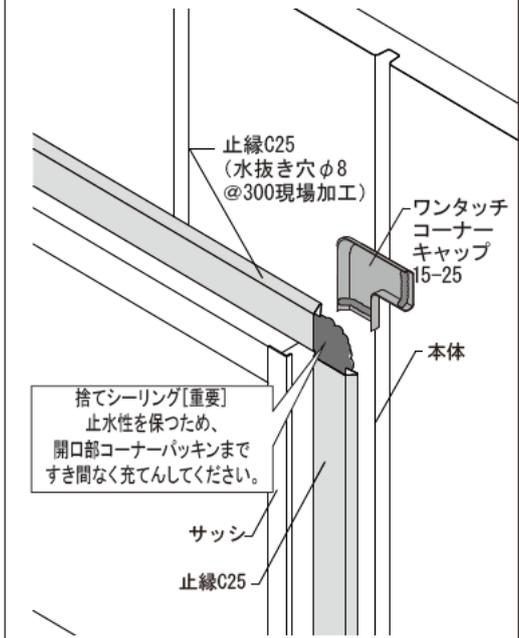
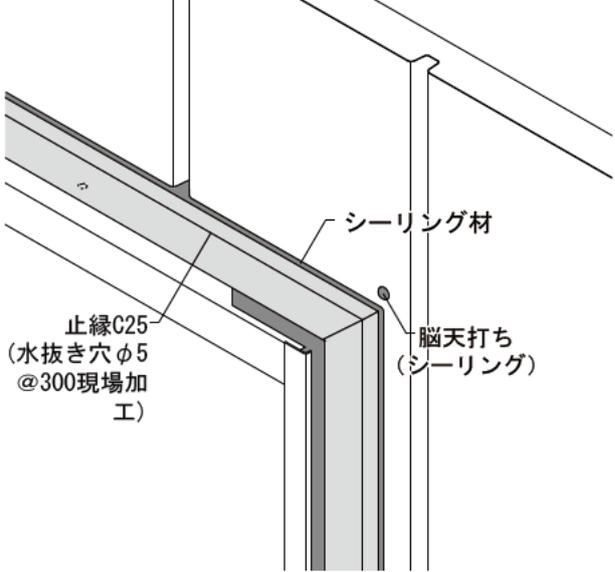
8 シーリング軽減工法

- 8-1. 施工前の確認事項 P70
- 8-2. 施工の手順とポイント P71
- 8-3. 各部位の納まり図 P79

8-1. 施工前の確認事項

単位：mm

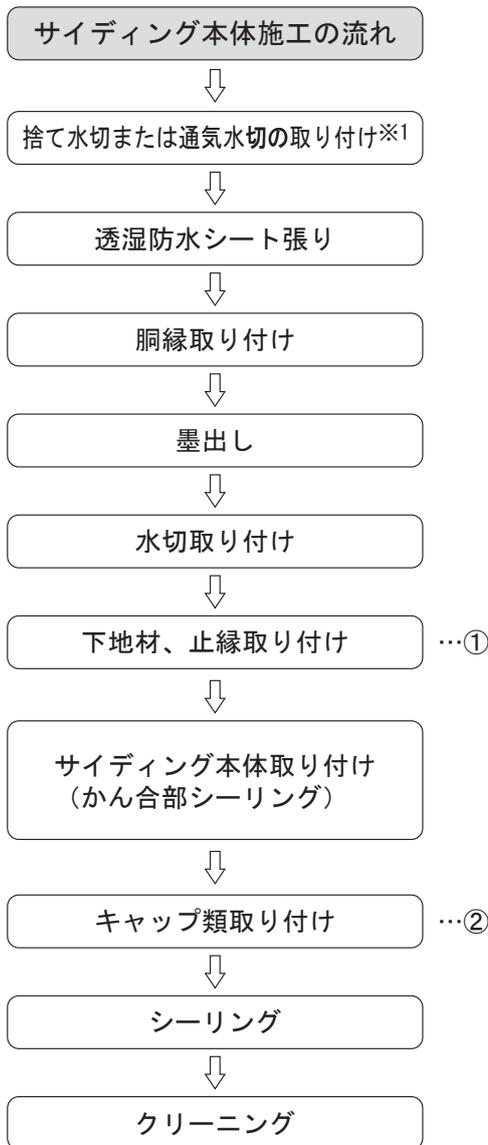
対象施工法について

<div style="text-align: center;">  <p>対象工法</p> </div>	<p>●開口部の適用条件</p> <p>開口部の各隅(4箇所)すべてに、ワンタッチコーナーキャップ15-25と開口部コーナーパッキン、捨てシーリングの施工をすることが、シーリング軽減工法の適用条件です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>開口部コーナーパッキン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ワンタッチコーナーキャップ15-25</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>SP-ガルスクエア</p> <p>開口部コーナーパッキン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>止縁C25 (水抜き穴φ8 @300現場加工)</p> <p>ワンタッチコーナーキャップ15-25</p> <p>本体</p> <p>サッシ</p> <p>止縁C25</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>捨てシーリング[重要] 止水性を保つため、 開口部コーナーパッキンまで すき間なく充てんしてください。</p> </div> </div> </div>
<div style="text-align: center;">  <p>対象外工法</p> </div>	<p>●開口部の適用外条件</p> <p>隅角部で部材加工で施工する場合は適用外です。 6. 各部位の納まり図を参照ください。</p> <div style="text-align: center;">  <p>シーリング材</p> <p>止縁C25 (水抜き穴φ5 @300現場加工)</p> <p>脳天打ち (シーリング)</p> </div>

8-2. 施工の手順とポイント

単位：mm

■施工の流れ



※1 水切25または通気水切（現場調達）を使用する場合

- ① 先付け部材
- ② 後付け部材

部位	必要部材	手順
土台部	水切25	①
	縦用スターター25	①
	アルミ縦用スターター25	①
出隅部	〔 出隅下地25N 3M出隅キャップ15-25 4M出隅キャップ15-25 〕	①
		②
		②
入隅部	〔 止縁C25 止縁捨板 止縁キャップ25 〕	①
		①
		②
縦継ぎ部	水切25 縦用スターター25	① ①
軒部	〔 通気軒見切15-25 止縁C25 止縁捨板 止縁キャップ25 〕	①
		①
		①
		②
見切り下屋部	縦用スターター25	①
笠木部	水切（現場加工） 縦用スターター25	①
		①
下がり壁部	下がり壁水切（現場加工） 縦用スターター25	①
		①
開口部	上 捨板（15×85） 止縁C25※2	①
		①
	左右・下 〔 止縁C25 止縁捨板 止縁キャップ25 〕	① ① ②
隅角	〔 開口部コーナーパッキン ワンタッチコーナーキャップ15-25 〕	①
		②

注) 部材の〔 〕内は、セットで使用してください。商品毎に対応部材が異なります。各商品の部材規格をご確認ください。

※2 水抜き穴（Φ8@300mm）の現場加工が必要です。

- ①先付け部材
- ②後付け部材

8-2. 施工の手順とポイント

<p>1. 割り付け</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン、作業効率、材料のロス、開口部の位置などを考慮して、本体のジョイント位置を決めます。下図のような割り付けは避けてください。 ・本体が極端に短くならないよう注意してください。 ・縦継ぎ部、出隅部などの納めには複数の部材を用意しています。デザイン性・施工性を考慮し選択してください。その際、キャップ類と捨板類の組み合わせについて間違いがないか確認してください。 <div data-bbox="774 577 1260 913" style="text-align: center;"> </div>						
<p>2. 水切の施工</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水切25を使用する場合は、胴縁を施工した後に施工してください。 						
<p>3. 胴縁の施工</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・胴縁は柱、間柱、土台、桁材などに取り付けます。開口部周囲は、通気経路を確保してください。通気の出入り口には、必要に応じて防虫網を取り付けてください。 ・使用する部材の納まり図を参照の上、胴縁を手配してください。 <table border="1" data-bbox="526 1240 1436 1568"> <thead> <tr> <th>張り方向</th> <th>胴縁間隔</th> <th>胴縁サイズ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>たて張り</td> <td>500mm以下</td> <td> 一般部、出隅部：18×45mm以上 土台部、縦継ぎ部、開口部など：18×90mm以上、または18×45mm以上（ダブル） ・横胴縁は、直接商品を留め付けるため、十分な強度が必要になります。防耐火構造認定では、15×45mm以上を取得していますが、厚さ18mmを推奨します。 </td> </tr> </tbody> </table>	張り方向	胴縁間隔	胴縁サイズ	たて張り	500mm以下	一般部、出隅部：18×45mm以上 土台部、縦継ぎ部、開口部など：18×90mm以上、または18×45mm以上（ダブル） ・横胴縁は、直接商品を留め付けるため、十分な強度が必要になります。防耐火構造認定では、15×45mm以上を取得していますが、厚さ18mmを推奨します。
張り方向	胴縁間隔	胴縁サイズ					
たて張り	500mm以下	一般部、出隅部：18×45mm以上 土台部、縦継ぎ部、開口部など：18×90mm以上、または18×45mm以上（ダブル） ・横胴縁は、直接商品を留め付けるため、十分な強度が必要になります。防耐火構造認定では、15×45mm以上を取得していますが、厚さ18mmを推奨します。					
<p>4. 墨出し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・墨出しを行い、部材を水平、垂直に施してください。 						
<p>5. 先付け部材の施工</p> <div data-bbox="156 1796 481 2078" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ①土台部：水切 縦継ぎ部：水切 ②開口部：止縁、捨板類 ③軒部：止縁、捨板類 ④隅角部：下地類 ⑤土台部：スターター 縦継ぎ部：スターター </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・施工前に、キャップ類と下地部材の組み合わせについて間違いがないか確認してください。 ・部材同士の納まりを考慮して施工してください。特に水が浸入した場合の排水経路の確保に留意してください。 ・水切の片側に切り欠き加工がされており、左右の接続が容易に行えます。切断して左右を接続する場合は、同様に切り欠き加工してください。 ・シーリング軽減工法では、開口部の4隅すべてに開口部コーナーパッキンを施工することが重要です。 						

8-2. 施工の手順とポイント

<p>6. 本体の取り付け ①本体の切断、加工</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・切断時に出るバリ・切り粉はさびや汚れの原因となりますので必ず除去してください。 ・壁面の終端などでは、本体のはめ込み代が必要になります。採寸時にご留意ください。本体のかん合部を切断して施工した場合は、本体の表面から留め付けてください。 <p>開口部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開口部下の本体と止縁C25または止縁キャップ25のかかり代を15mm以上としてください。本体と止縁C25または止縁キャップ25のかかり代を15mm以上確保することで、雨水が本体を乗り越えて内部に吹き上がるのを防ぎます。 ・開口部左右下の本体端部と部材のすき間を5mm以上あけてください。開口部コーナーパッキンまで、捨てシーリングをすき間なく充てんすることで、止水性能が確保されます。 <p>縦継ぎ部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦継ぎ部下の本体と水切25のかかり代を15mm以上としてください。本体と水切25のかかり代を15mm以上確保することで、雨水が本体を乗り越えて内部に吹き上がる事を防ぎます。
---------------------------------	--

8-2. 施工の手順とポイント

<p>6. 本体の取り付け ②施工期間中の養生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工期間中は、雨水が本体の裏側に入らないよう養生してください。
<p>③本体の施工</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ かん合の際は、必要以上に強く押し付けすぎると変形のおそれがありますので注意してください。 ・ 開口部などで本体を切り欠く際は、各部材の位置を確認し本体に無理な力がかからないように切り欠き寸法を設定し切断してください。また、本体を変形させるような無理なはめ込みは避けてください。 ・ 本体は、働き幅で施工してください。働き幅より広い幅で施工すると、水密性や耐風圧強度などで十分な性能を発揮できなくなるおそれがあります。 <div data-bbox="518 851 1220 1366" style="text-align: center;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体を切り欠き加工すると強度が低下し破損しやすくなります。持ち運び時には切り欠き部に当て板を当てるなどして、破損しないように注意してください。かん合部の両側を切り欠いた際は特に注意してください。採寸時にご留意ください。 <div data-bbox="606 1668 1101 1948" style="text-align: center;"> </div>

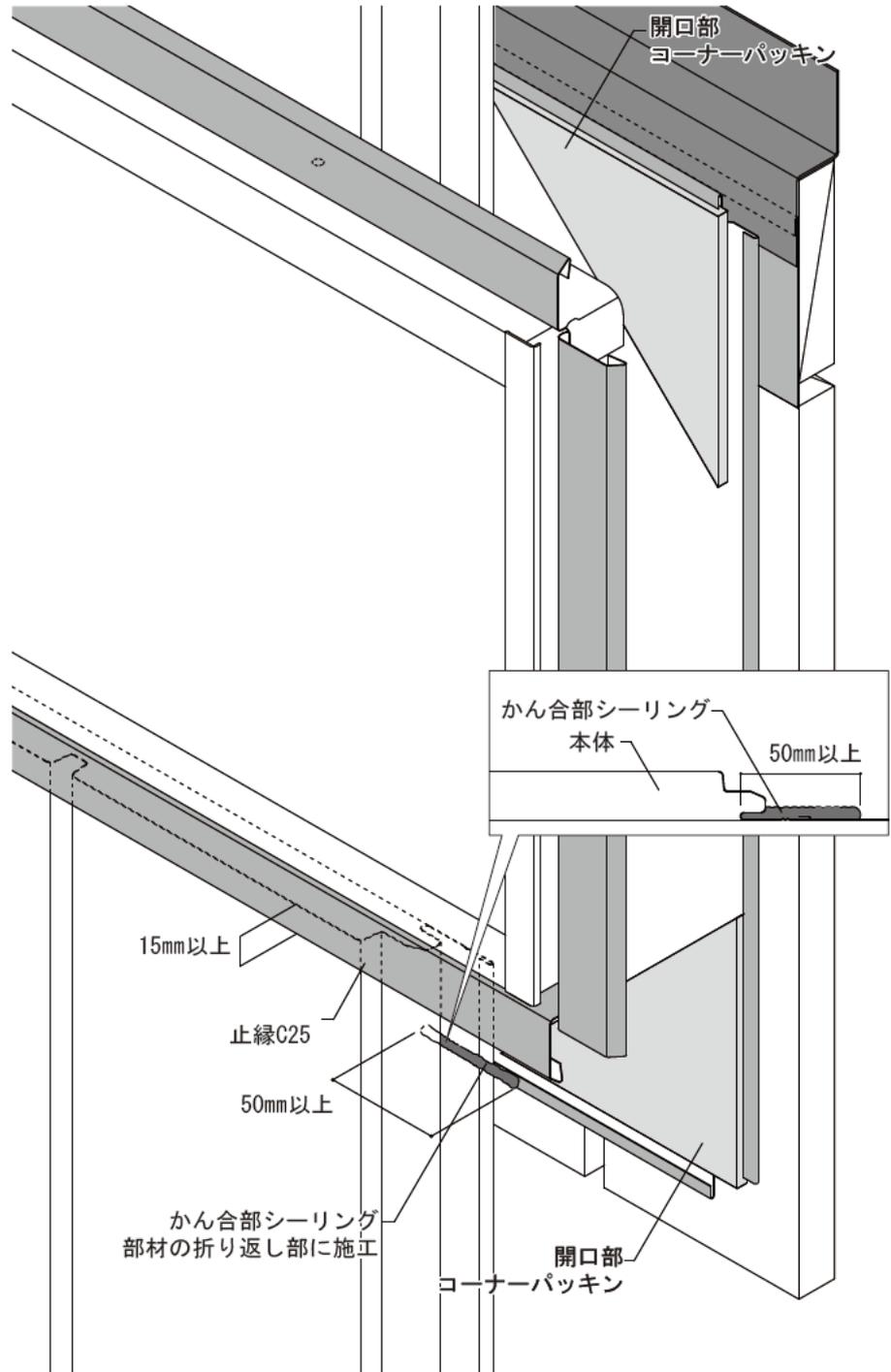
8-2. 施工の手順とポイント

④かん合部シーリングの施工

施工部位

- ・開口部（下）
- ・軒部

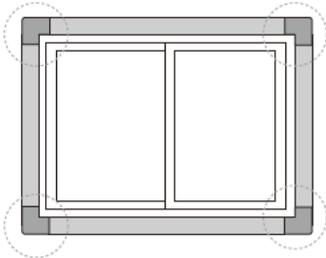
- ・ 本体1枚ごとに、かん合部シーリング（50mm以上）を部材の折り返し部に施工してください。本体かん合部にシーリングを施すことで、雨水が部材の折り返し部を乗り越えて内部に浸水する事を防ぎます。詳細は8-3. 各納まり図を参照してください。
- ・ 開口部下において、本体と止縁C25、止縁キャップ25の重なり代を15mm以上確保する事で、雨水が本体を乗り越えて内部に吹き上がり浸入する事を防ぎます。



8-2. 施工の手順とポイント

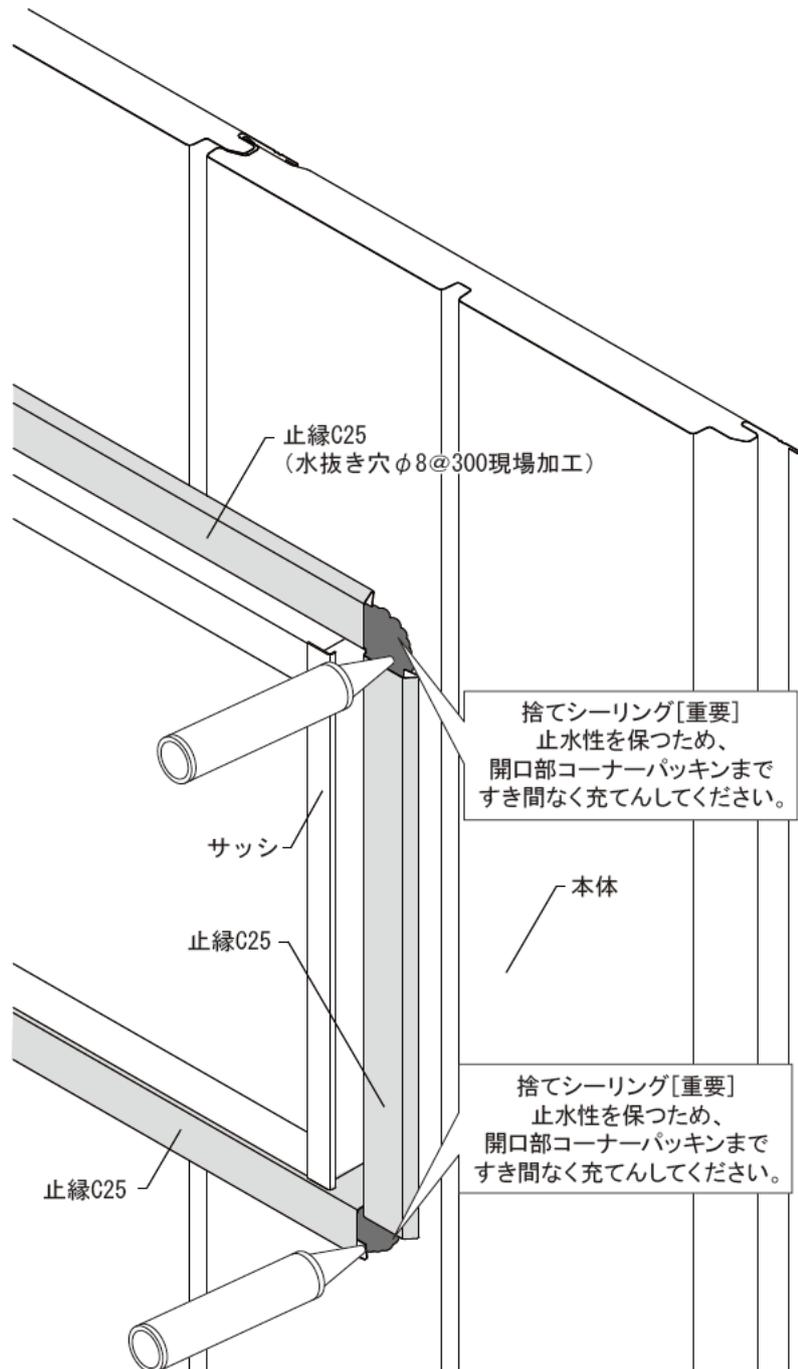
6. 本体の取り付け

⑤開口部隅角部（4箇所）の
シーリングの施工

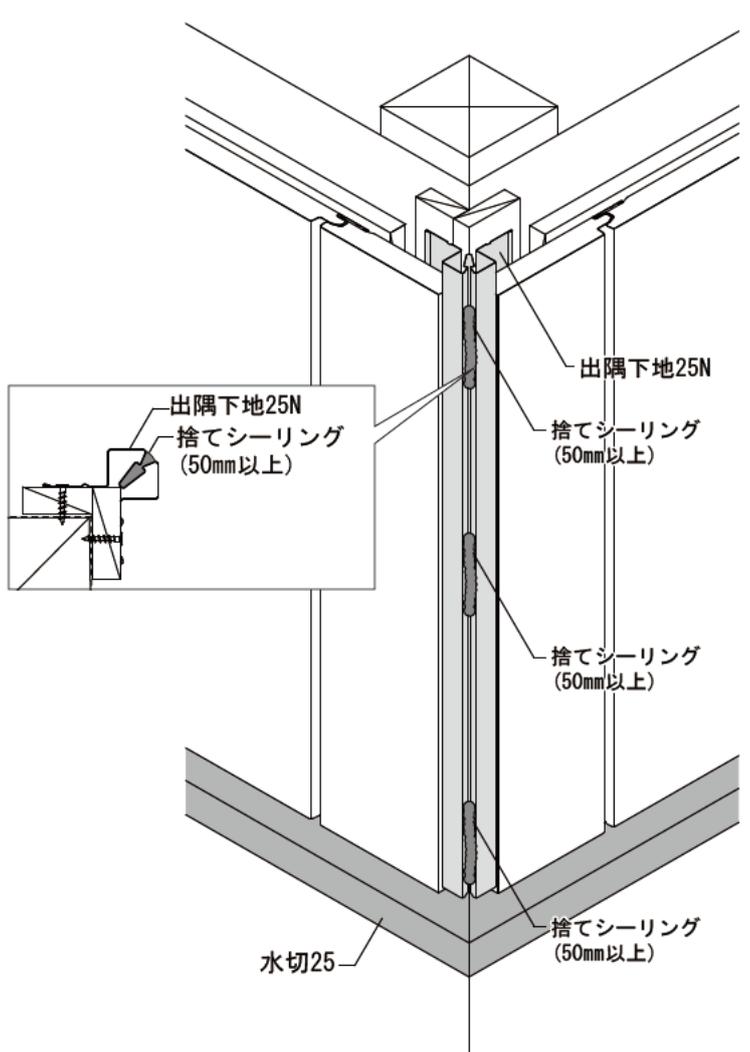


・開口部の隅角部（4箇所）すべてのすき間に施工する捨てシーリングは、性能を確保するために、次の2つの目的がありますので留意ください。

I. 止水性を保つため、本体と部材の隅角部のすき間には、開口部コーナーパッキンまですき間なく捨てシーリングを充てんしてください。開口部上と下の隅角部に開口部コーナーパッキンを使用し捨てシーリングを充てんすることで、開口部の本体と止縁C25のすき間より浸入した雨水が、開口部コーナーパッキンとシーリング充てん部より内部への浸入を防ぎ外に雨水が排出されます。シーリング材が確実に充てんされず、本体、部材、開口部コーナーパッキンの間にすき間があると十分な止水性が得られませんので注意してください。



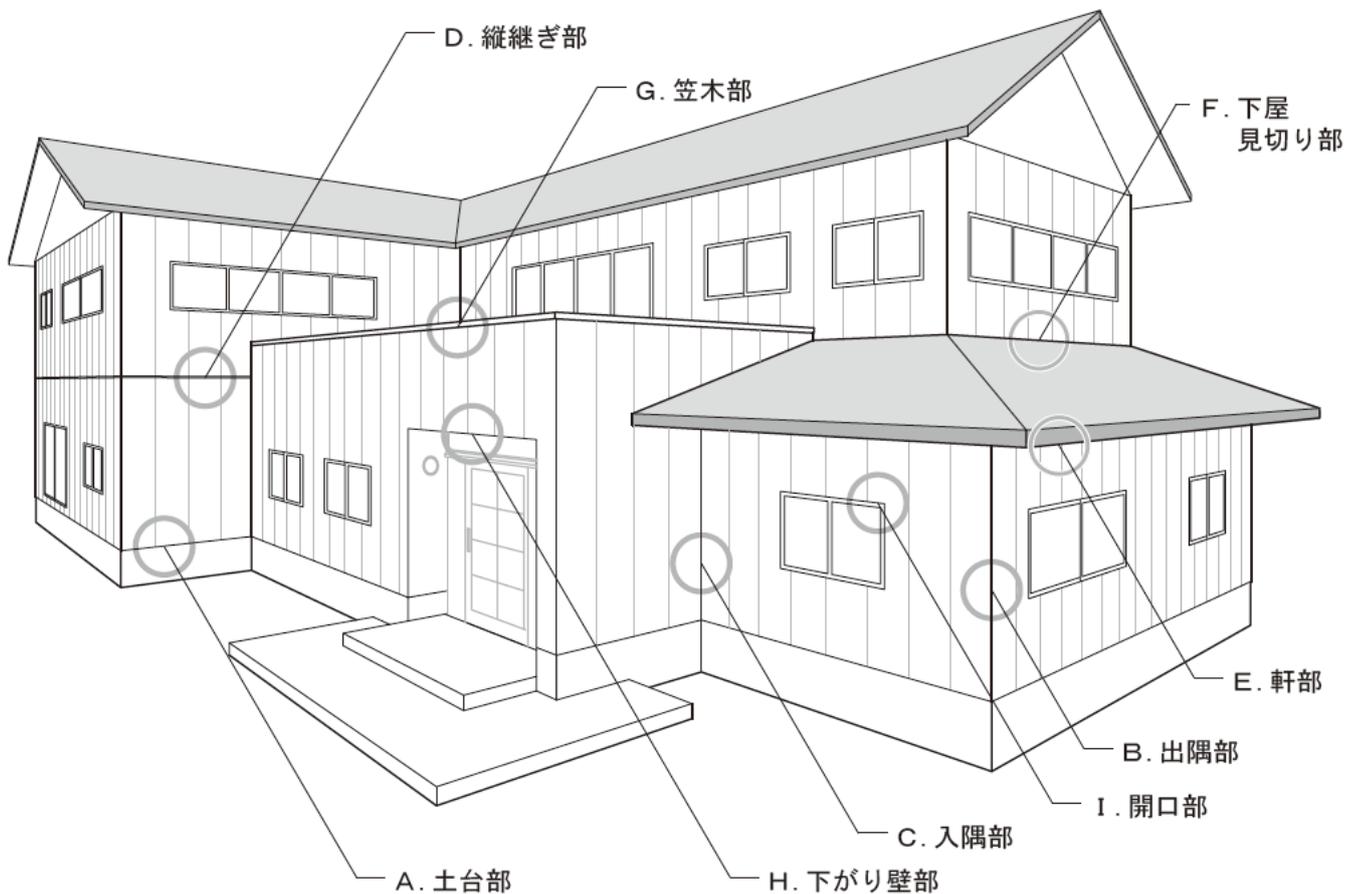
8-2. 施工の手順とポイント

<p>7. 後付け部材の取り付け ①下地材への捨てシーリングの施工</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャップ部材を施工する前に脱落防止のため、捨てシーリングを施工してください。施工するキャップ部材の長さにより、施工箇所が異なりますので対象部材を確認し、確実に施工してください。
<p>●長物のキャップ部材の場合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>対象部材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3M出隅キャップ15-25 ・4M出隅キャップ15-25 など </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャップ部材の脱落防止のため、下地部材の上下端部、中央部の3か所に捨てシーリングを差し込み部分に50mm以上施工してください。  <p>The diagram illustrates the installation of a long corner cap. It shows a vertical cap being attached to a corner of a wall. Three locations are marked for the application of '捨てシーリング' (filler sealant): the top edge, the middle, and the bottom edge. Each application is specified as being at least 50mm long. The cap is labeled '出隅下地25N'. At the bottom, a '水切25' (water cut) is shown. An inset diagram provides a close-up view of the sealant being applied to the cap's edge.</p>

8-2. 施工の手順とポイント

<p>7. 後付け部材の取り付け ②キャップ部材の施工</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャップ部材は捨板とのはめ込み式になっています。確実にハマっているか確認してください。
<p>8. シーリング・補修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シーリング、塗料の被着面が高温の場合は施工を控えてください。また、水分、油分、ほこりなどに注意してください。
<p>9. 清掃・廃材処理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製品表面をクリーニングする場合は、水または中性洗剤で洗浄してください。中性洗剤は水でよく洗い流してください。この際、堅いブラシは使用しないでください。 ・包装材・残材などの廃材は、産業廃棄物として適切に処分してください。
<p>10. 積雪の影響（雪の負荷）のある地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雪の積もる高さまで胴縁の間隔を狭くするなどの対処をしてください。 ・水切25は、雪の重みで変形するおそれがありますので、当て木を入れるなどの対処をしてください。 ・本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。 ・縦用スターター25は、雪の重みで変形するおそれがありますので、アルミ縦用スターター25の使用をお勧めします。

8-3. 各部位の納まり図



納まり図	
A. 土台部P80
B. 出隅部P81
C. 入隅部P82
D. 縦継ぎ部P83
E. 軒部P84
F. 下屋見切り部P86
G. 笠木部P87
H. 下がり壁部P88
I. 開口部P89

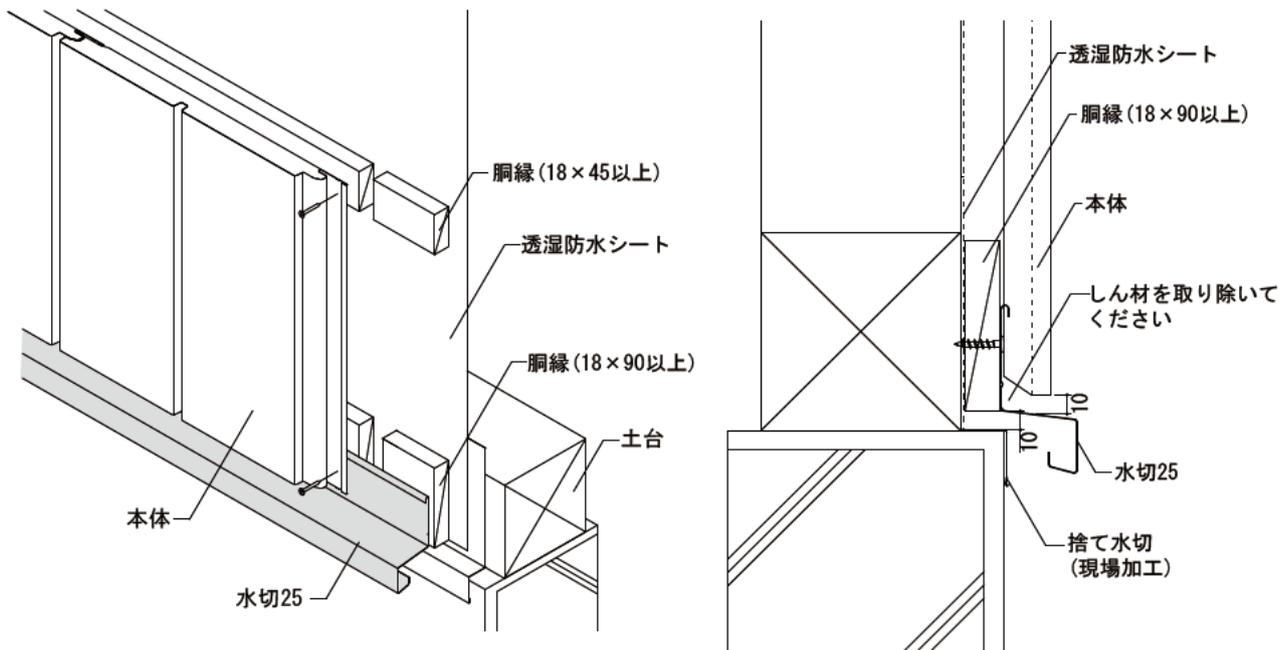
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

A. 土台部（1）

- ・ 本体の下端と水切25の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 本体の下端は、水切25の上に留め付けてください。
- ・ 積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。水切25の下に当て木などを入れるなどの対処をしてください。

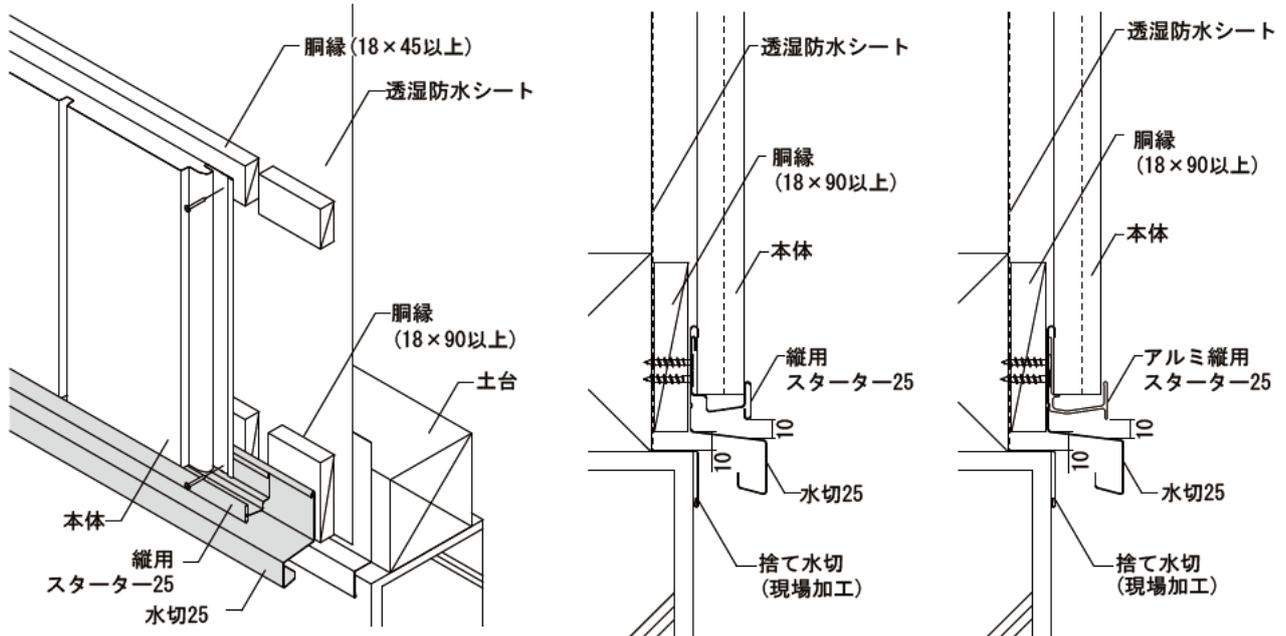
使用部材：水切25



A. 土台部（2）

- ・ 縦用スターター25（アルミ縦用スターター25）の下端と水切25の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 本体の下端は、縦用スターター25（アルミ縦用スターター25）の上に留め付けてください。
- ・ 積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。水切25の下に当て木などを入れるなどの対処をしてください。縦用スターター25は雪の重みで変形するおそれがありますので、アルミ縦用スターター25の使用をお勧めします。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。

使用部材：水切25・縦用スターター25またはアルミ縦用スターター25



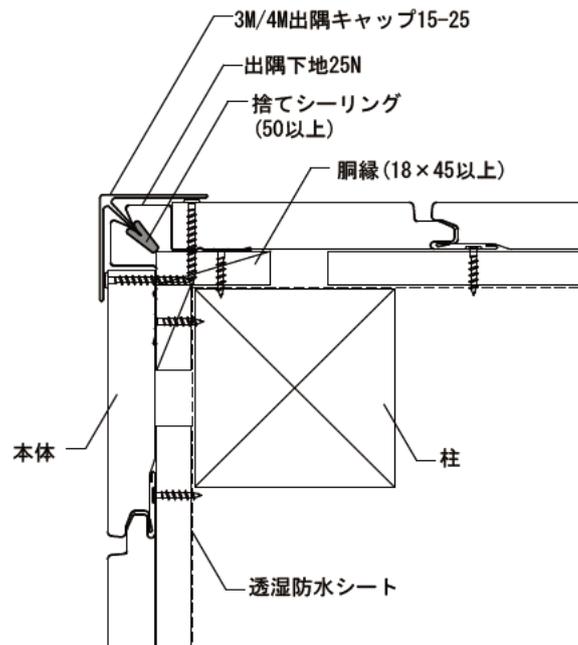
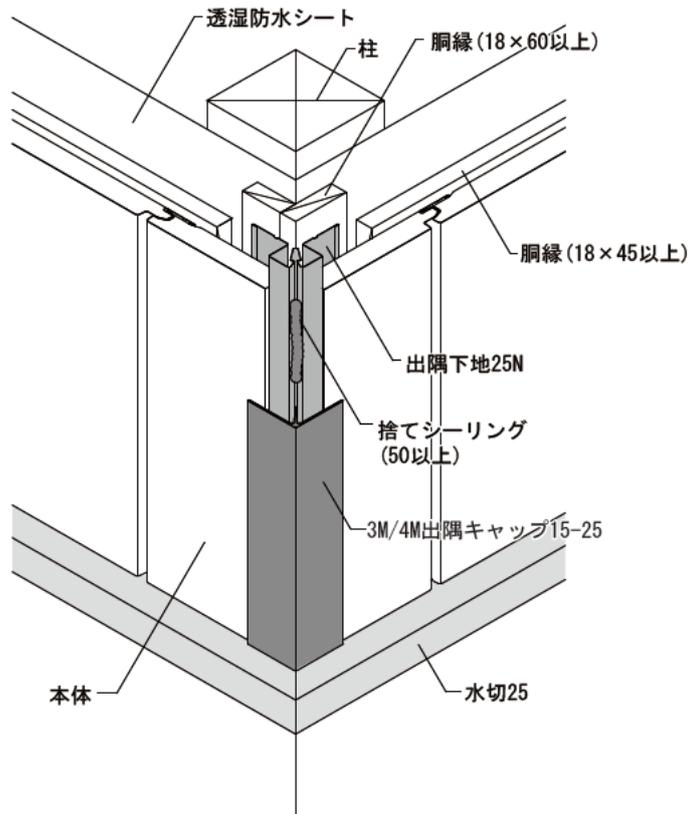
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

B. 出隅部

- ・ 本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
- ・ 出隅下地25Nには、3か所（上下端部、中心部に50mm以上）の捨てシーリングを施工してください。

使用部材：3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地25N



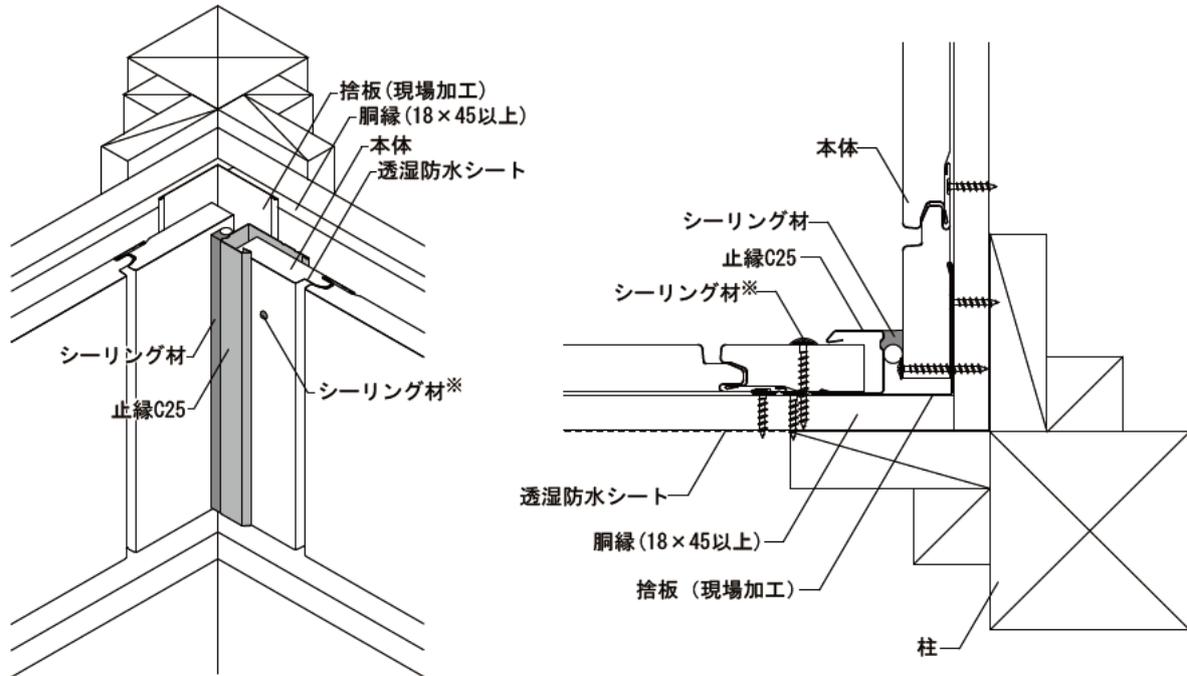
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

C. 入隅部（1）

・本体の端部は必ずスクリークぎまたは木ねじで、直接下地に留め付けてください。
 ※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

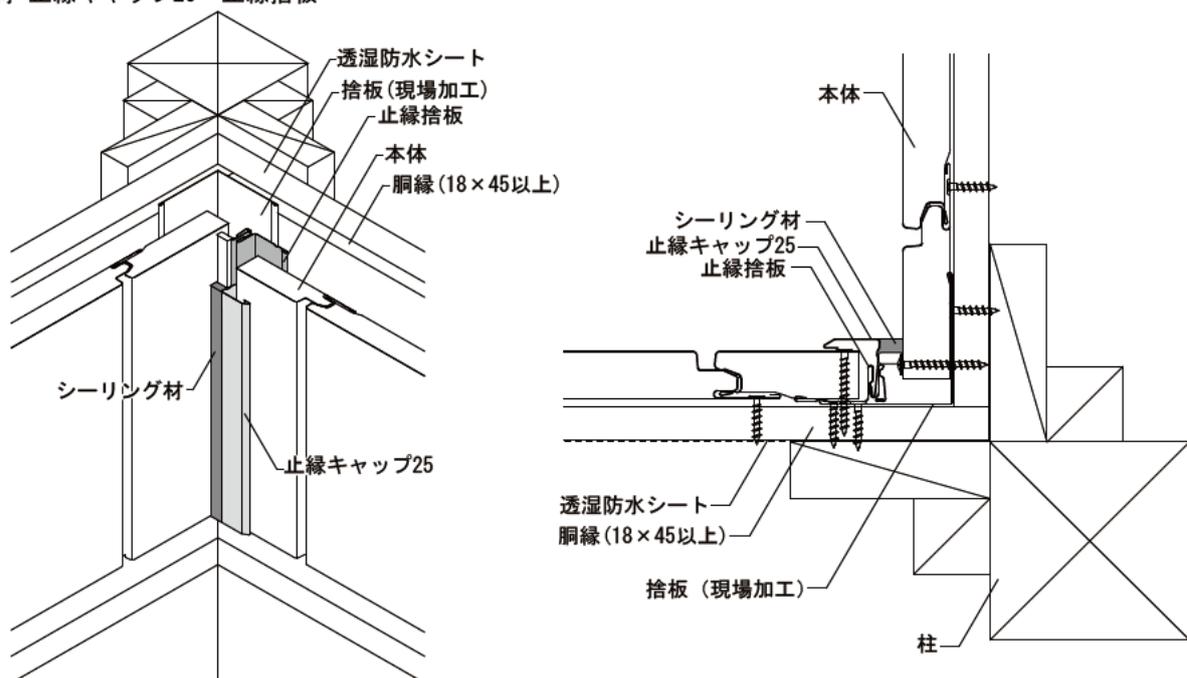
使用部材：止縁C25



C. 入隅部（2）

・本体は必ず留め具で、直接下地に留め付けてください。

使用部材：止縁キャップ25・止縁捨板



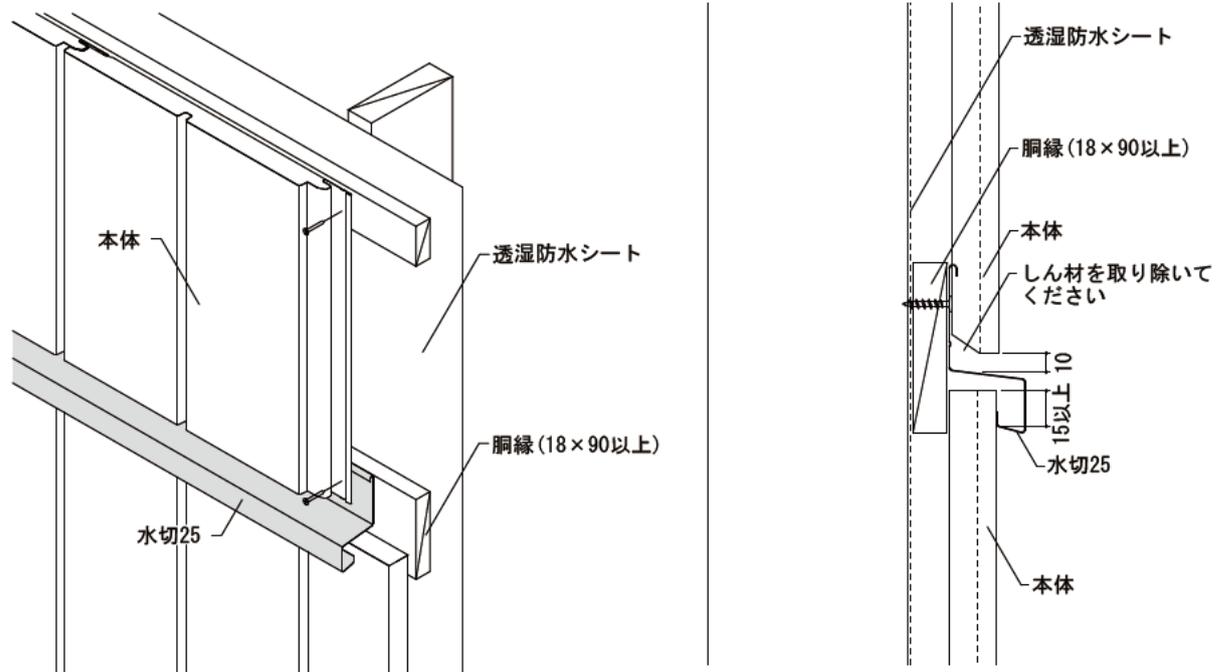
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

D. 縦継ぎ部（1）

- ・ 本体と水切25の重なり代を15mm以上確保する事で、雨水が本体を乗り越えて内部に吹き上がり浸入する事を防ぎます。
- ・ 本体の下端と水切25の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。

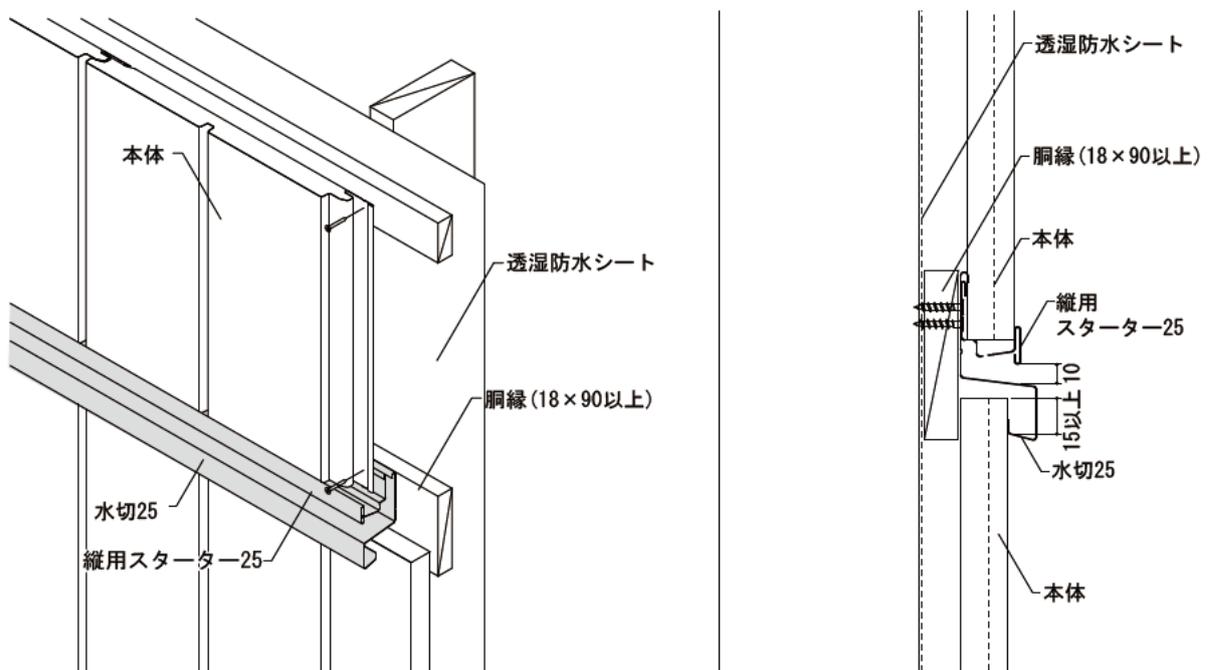
使用部材：水切25



D. 縦継ぎ部（2）

- ・ 本体と水切25の重なり代を15mm以上確保する事で、雨水が本体を乗り越えて内部に吹き上がり浸入する事を防ぎます。
- ・ 本体の下端は、縦用スターター25の上に留め付けてください。
- ・ 縦用スターター25の下端と水切25の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。
- ・ 縦継ぎ部にアルミ縦用スターター25を使用すると、防耐火構造認定の対象外となります。

使用部材：水切25・縦用スターター25



8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

E. 軒部（1）

軒の出が300mm未満の場合

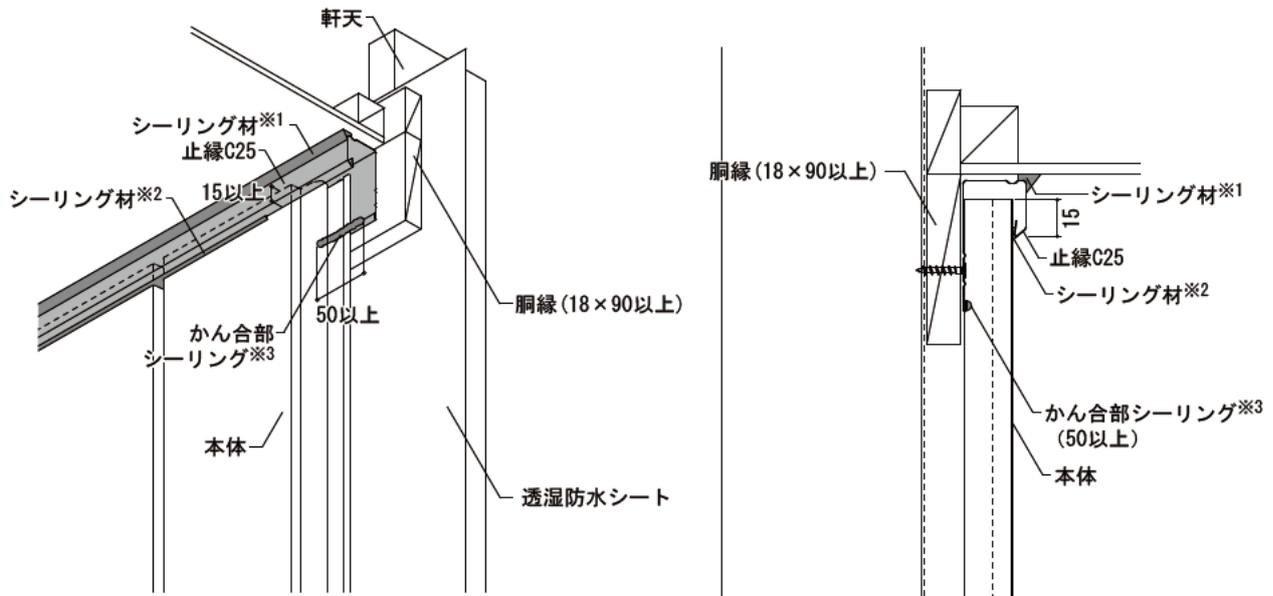
① 本体と止縁C25の重なり代を15mm以上確保し、かん合部シーリング※3を施工してください。本体と止縁C25の重なり代を15mm以上確保できない場合は、本体と止縁C25の間にシーリング材※2を施工してください。

② 軒天と止縁C25の間に、シーリング材※1を施工してください。

軒の出が300mm以上の場合

① シーリング材※1、※2、かん合部シーリング※3は、無しも可。

使用部材：止縁C25



E. 軒部（2）

軒の出が300mm未満の場合

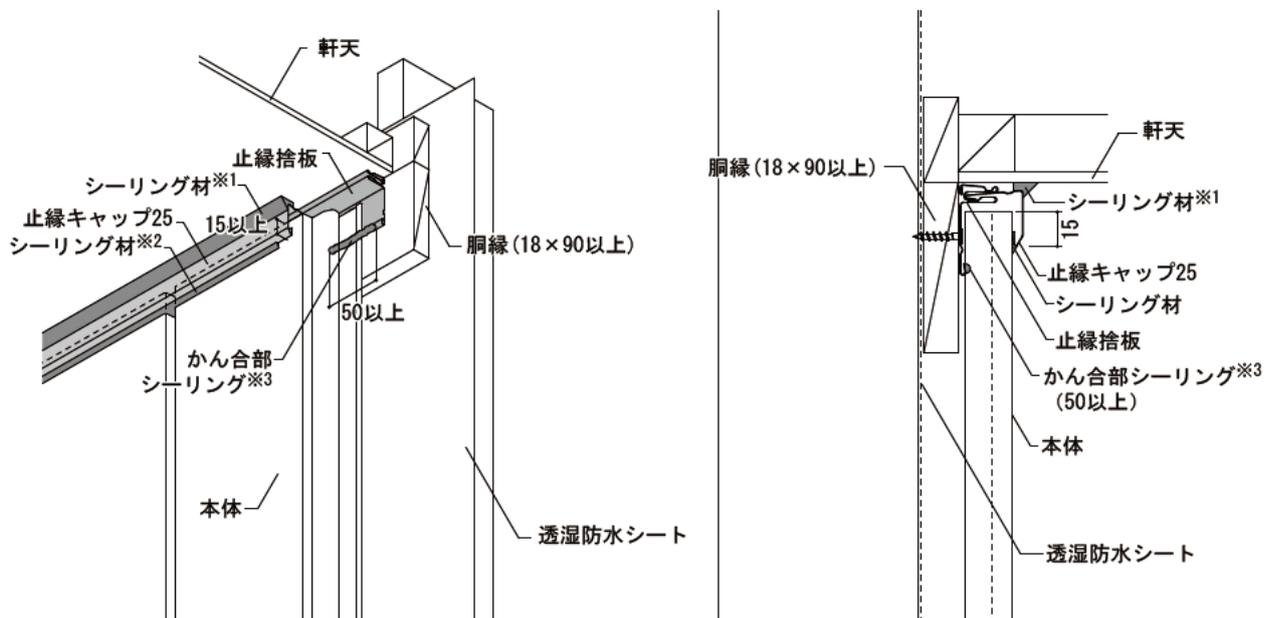
① 本体と止縁キャップ25の重なり代を15mm以上確保し、かん合部シーリング※3を施工してください。本体と止縁キャップ25の重なり代を15mm以上確保できない場合は、本体と止縁キャップ25の間にシーリング材※2を施工してください。

② 軒天と止縁キャップ25の間に、シーリング材※1を施工してください。

軒の出が300mm以上の場合

① シーリング材※1、※2、かん合部シーリング※3は、無しも可。

使用部材：止縁キャップ25・止縁捨板



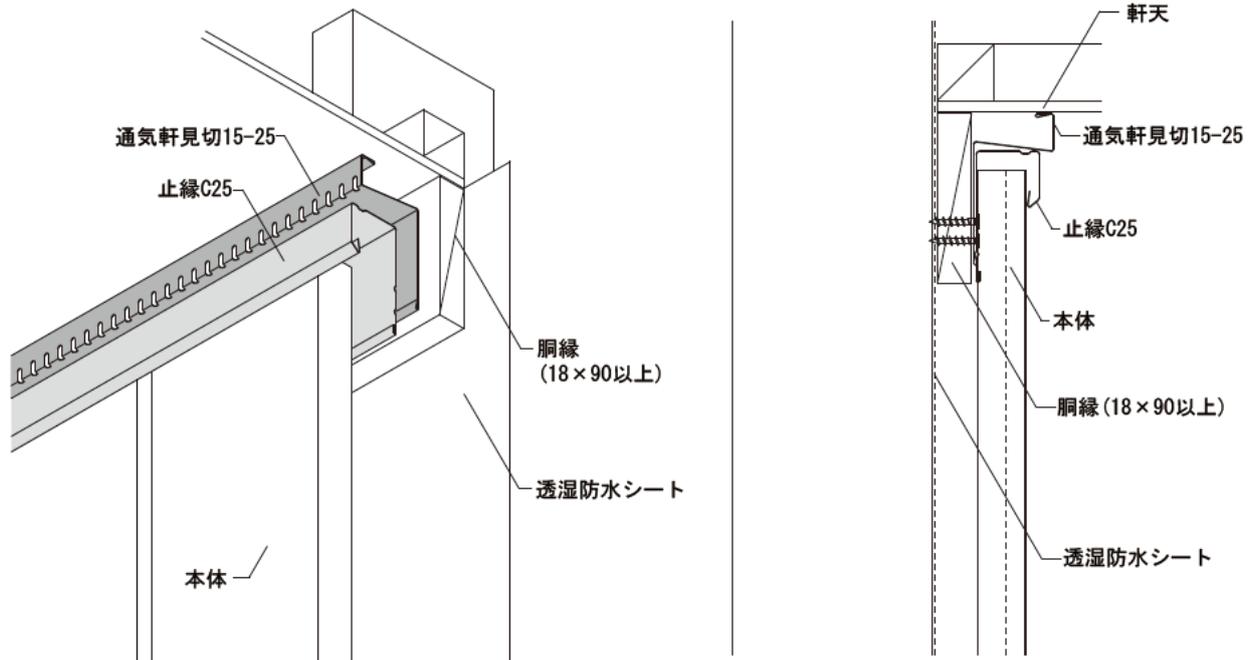
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

E. 軒部（3）

- ・ 軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。
- ・ 通気軒見切15-25は、軒の出が300mm以上の建物に使用してください。

使用部材：通気軒見切15-25・止縁C25

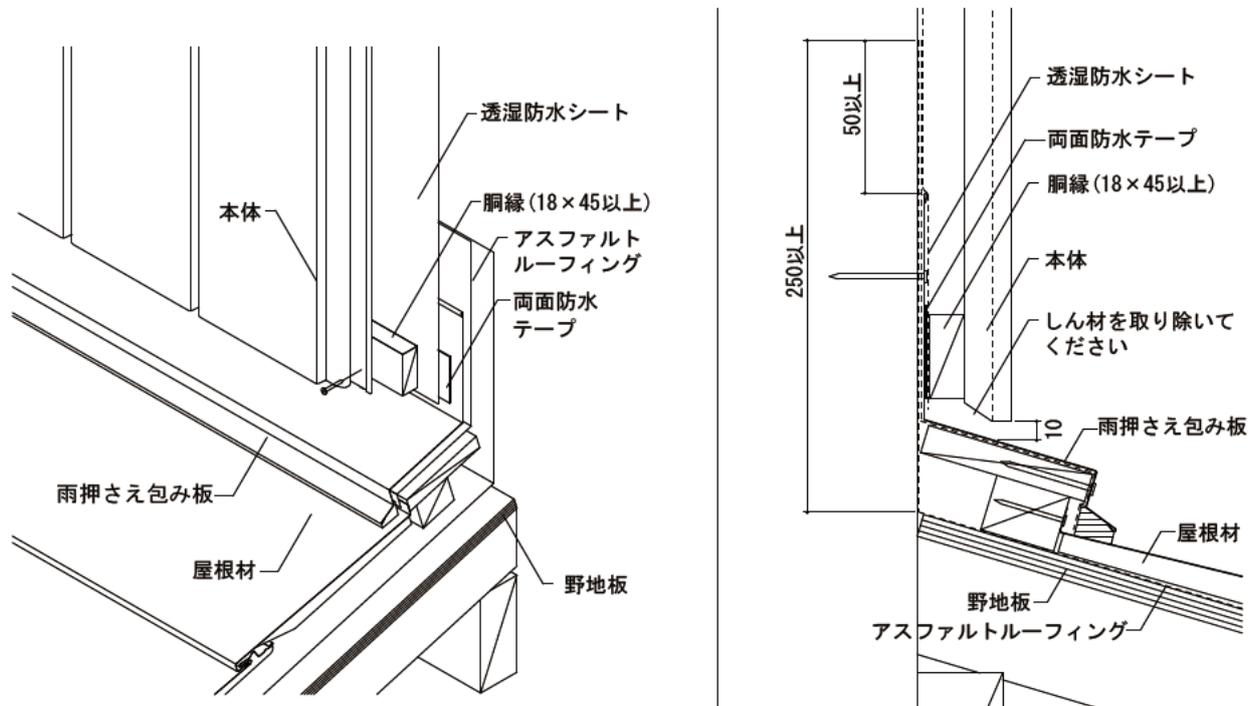


8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

F. 下屋見切り部（１）

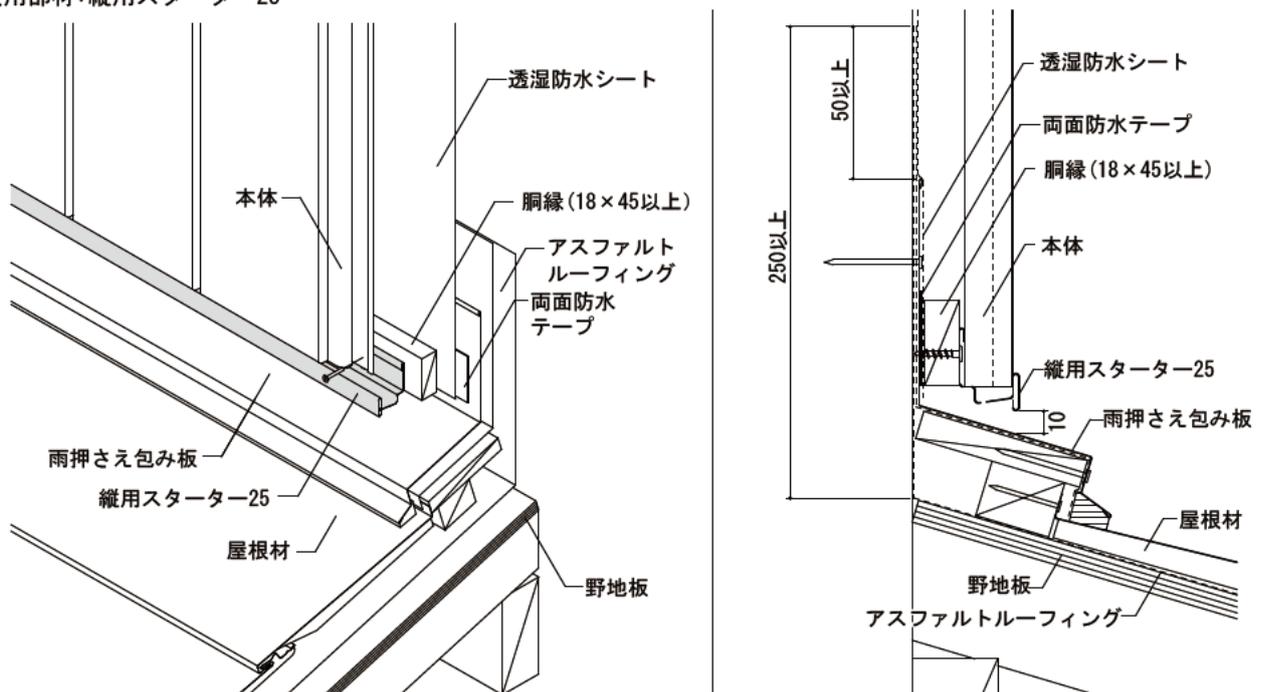
- ・積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。
- ・本体の下端と雨押さえ包み板の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。



F. 下屋見切り部（２）

- ・積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、縦用スターター25を使用しない納め方としてください。
- ・縦用スターター25の下端と雨押さえ包み板の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・本体の下端は、縦用スターター25の上に留め付けてください。
- ・施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。

使用部材：縦用スターター25



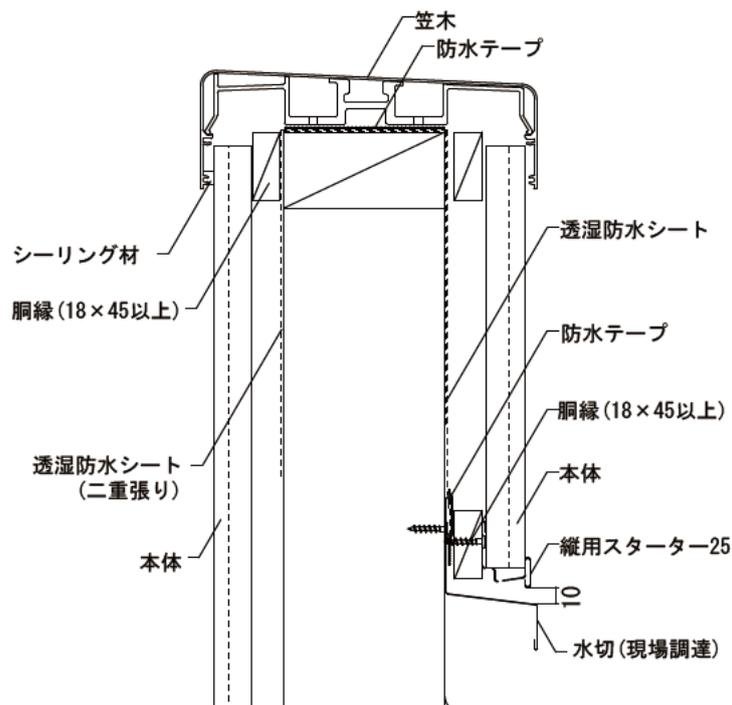
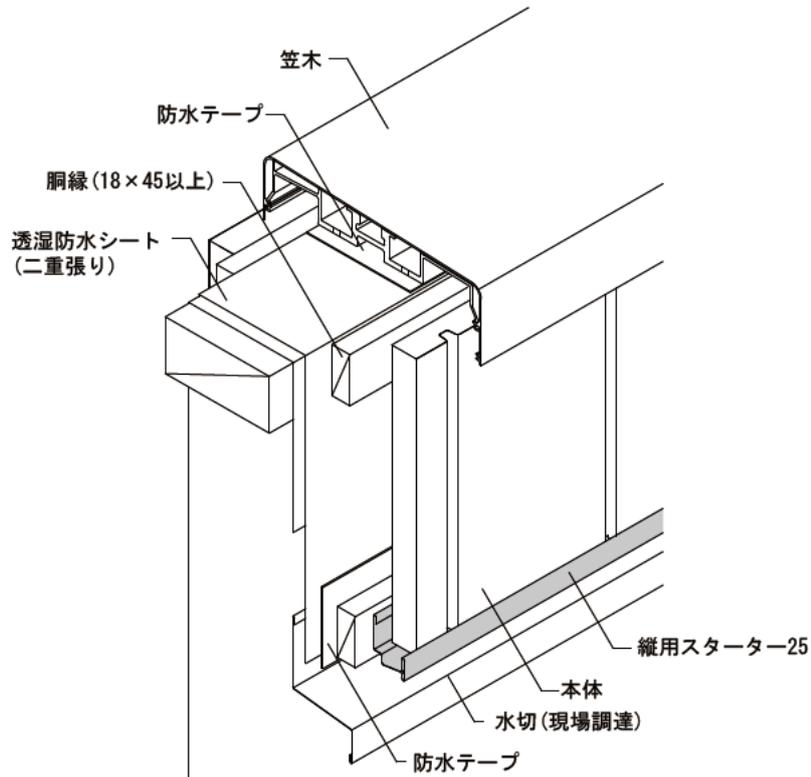
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

G. 笠木部

- ・積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処し、縦用スターター25を使用しない納め方としてください。
- ・防水上万全を期すため、透湿防水シートを二重張りにしてください。
- ・通気経路を確保してください。
- ・施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。

使用部材：縦用スターター25



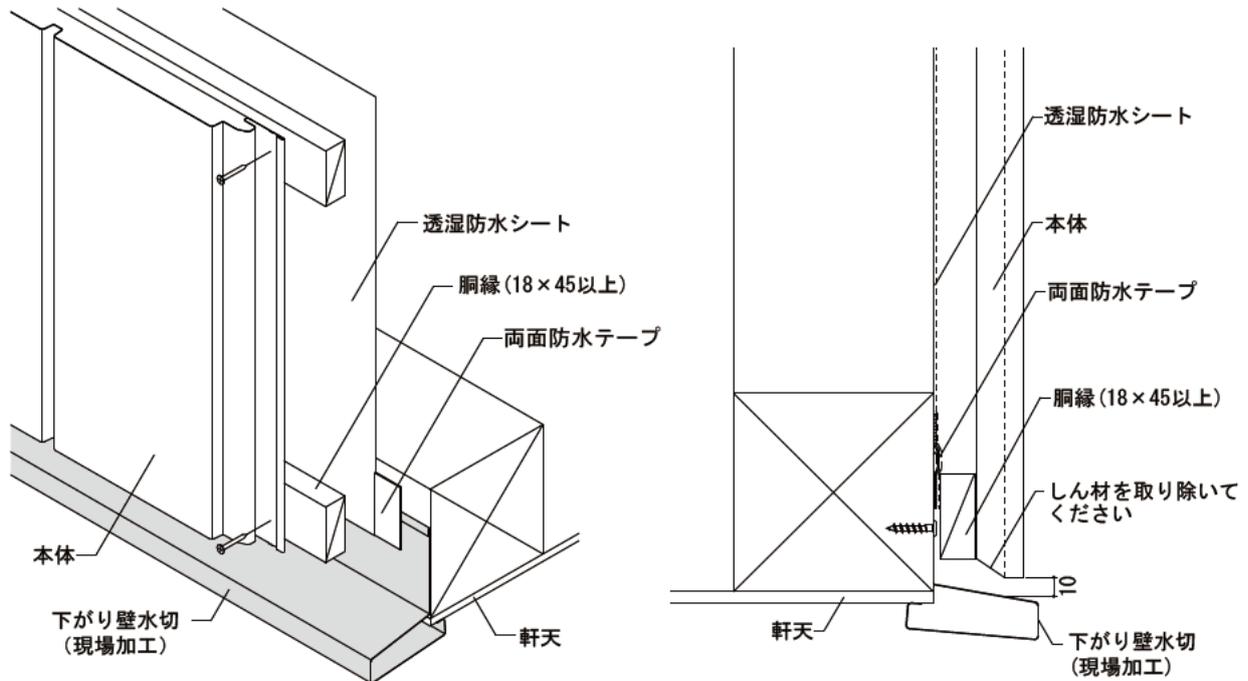
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

H. 下がり壁部（1）

・本体の下端と下がり壁水切（現場加工）の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。

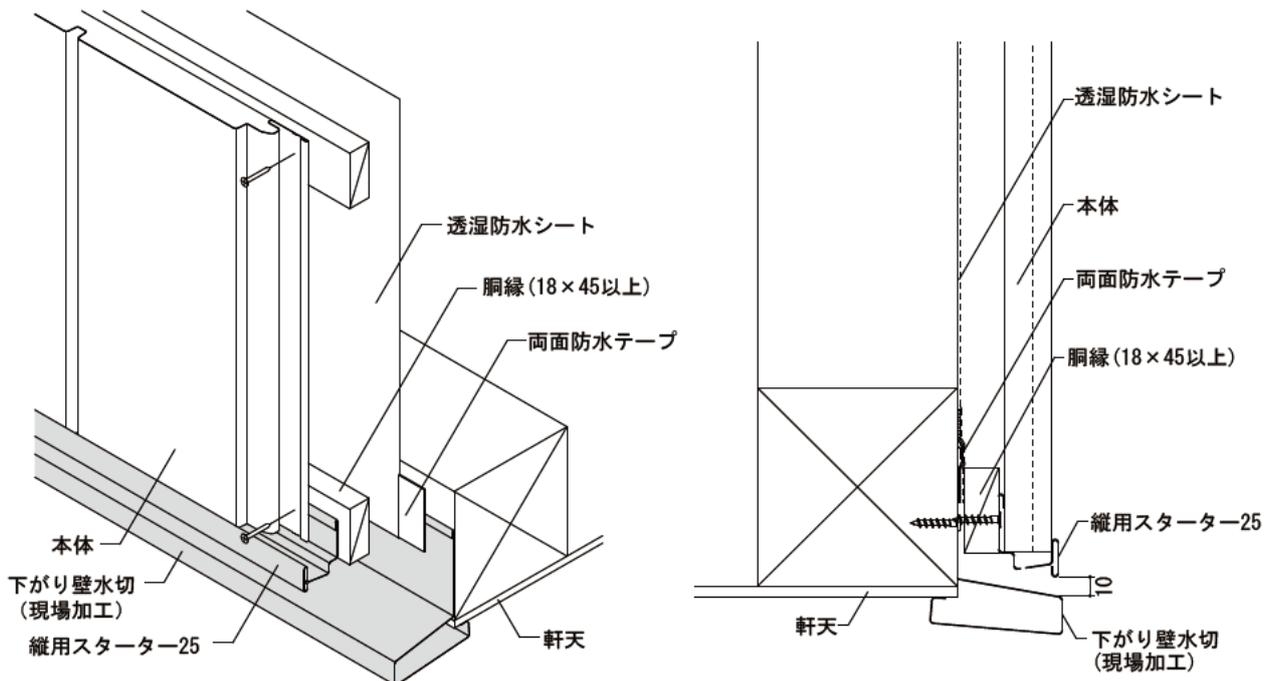
使用部材：下がり壁水切（現場加工）



H. 下がり壁部（2）

・縦用スターター25の下端と下がり壁（現場加工）の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
 ・本体の下端は、縦用スターター25の上に留め付けてください。
 ・施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。

使用部材：下がり壁水切（現場加工）・縦用スターター25



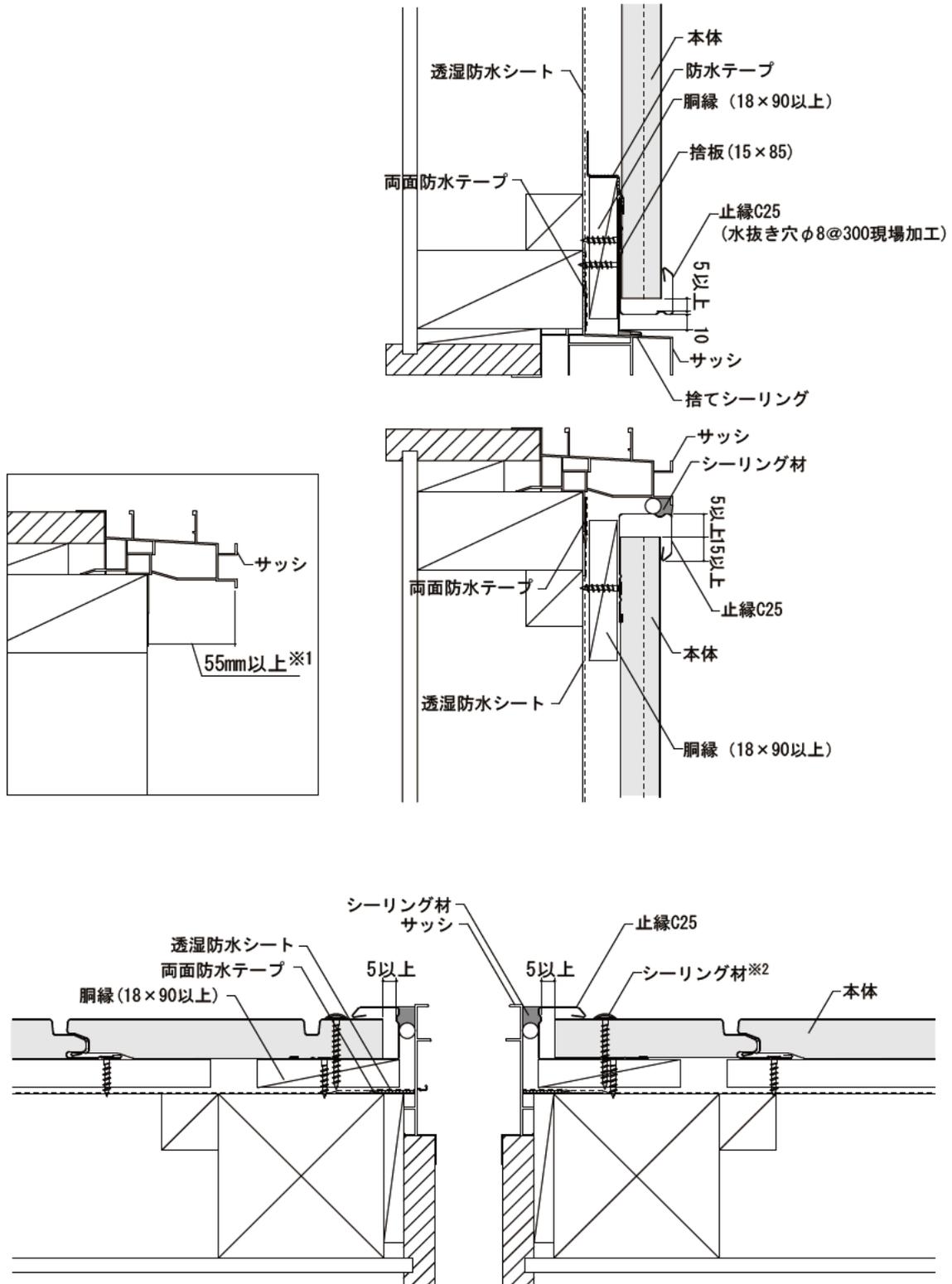
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

I. 開口部（1）

- ・止縁C25をサッシ上部に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。
- ※1下地表面からサッシの出幅が55mm以上の場合に、施工できます。
- ※2くぎまたはねじ頭には、シーリング材の代わりにタッチアップペイントでの塗装も可。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)・ワンタッチコーナーキャップ15-25



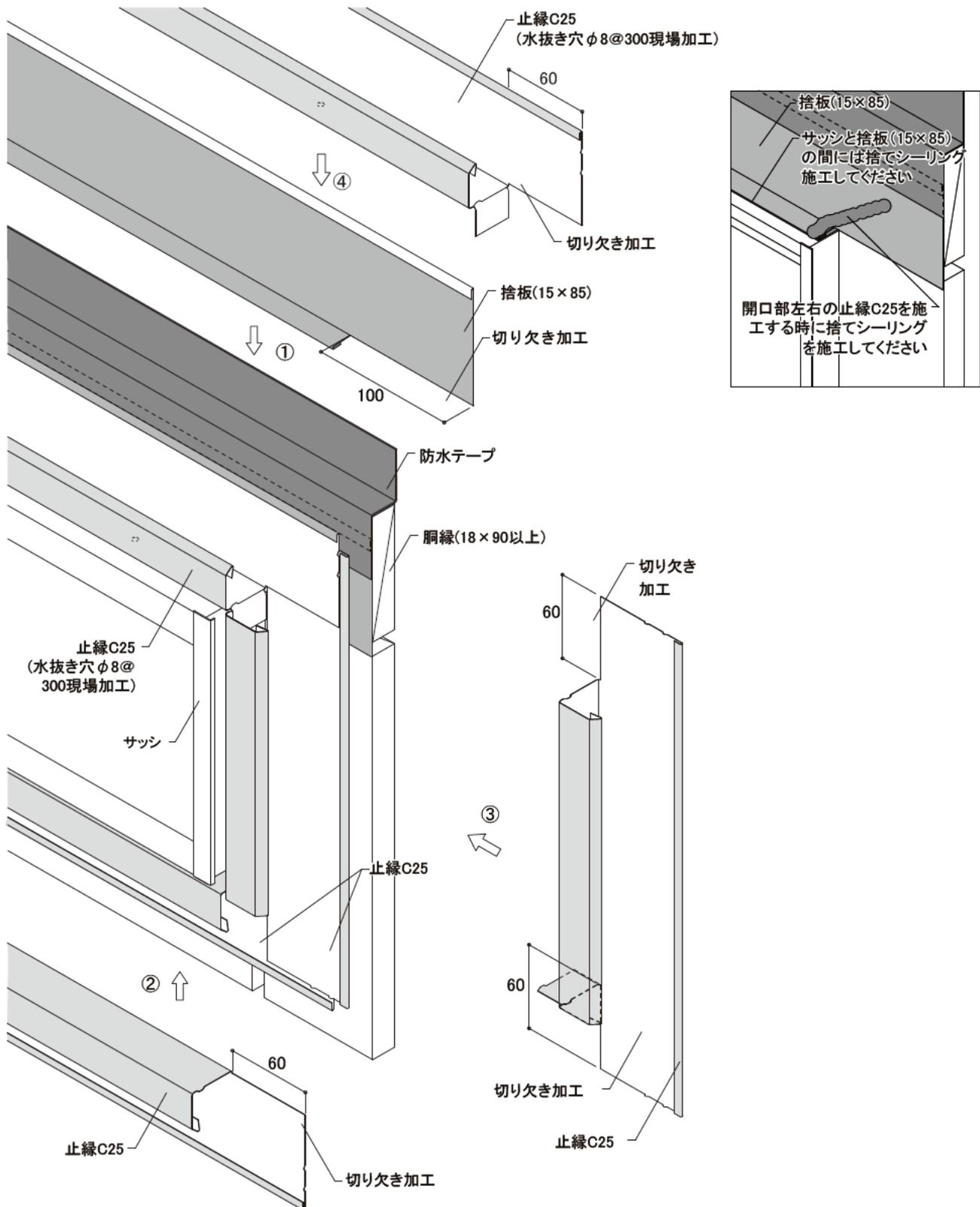
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

1. 開口部 (1)

- ①サッシ上に捨板(15×85)取り付けて、その上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ②サッシ下に止縁C25を取り付けてください。
- ③サッシ左右に止縁C25を取り付けてください。
- ④捨板(15×85)に捨てシーリングを施工後、サッシ上に止縁C25を取り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)・ワンタッチコーナーキャップ15-25



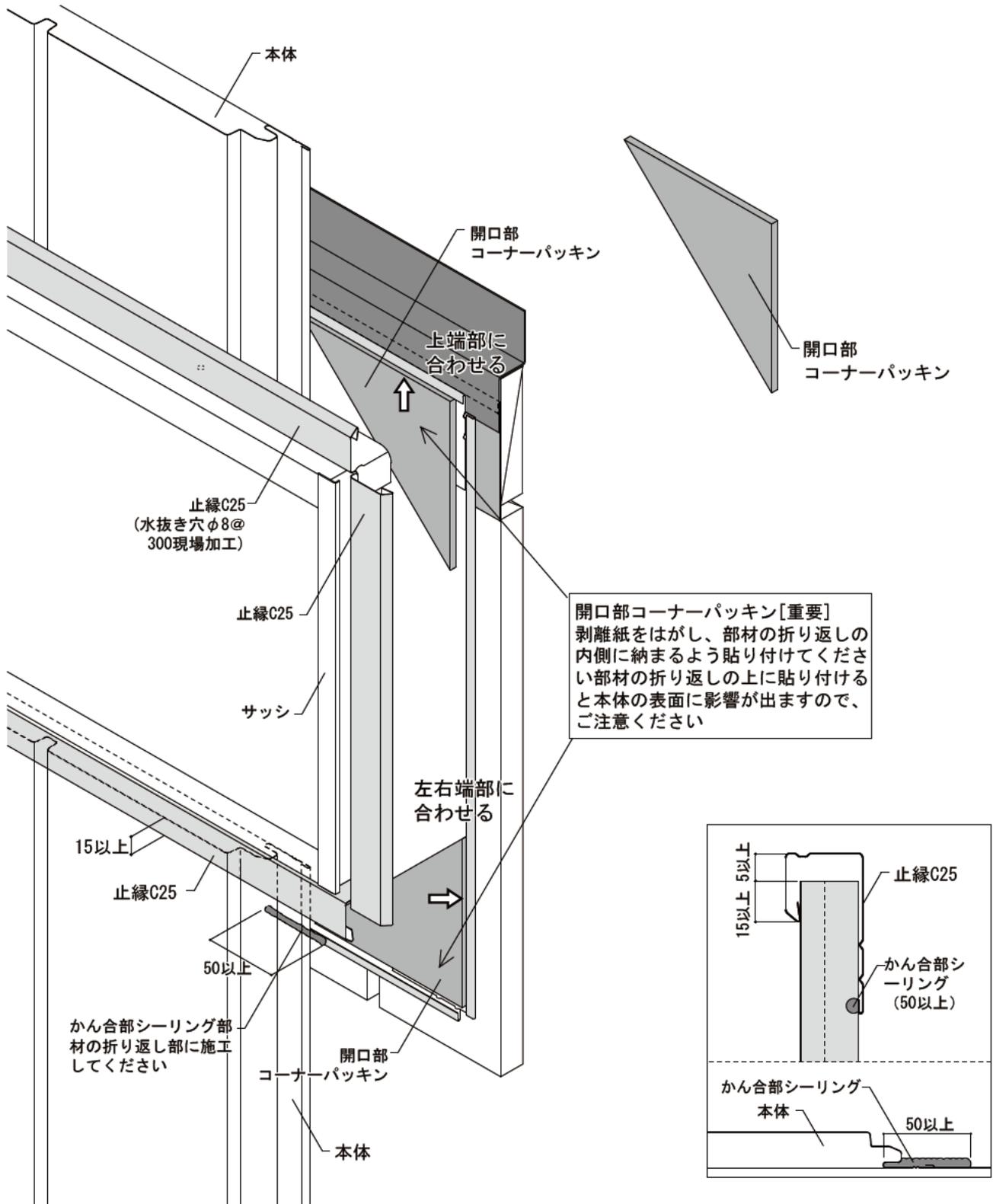
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

I. 開口部（1）

- ・ 開口部コーナーパッキンは隅角部（四隅）に施工してください。開口部コーナーパッキンは、止縁C25の折り返し部分の内側の端部に合わせて、すき間なく貼り付けて施工してください。
- ・ 部材の折り返し部分の上に、開口部コーナーパッキンを貼り付けると本体施工後の意匠と水密性能が低下するおそれがあります。
- ・ 開口部下の本体と止縁C25のかかり代を15mm以上としてください。
- ・ 本体端部と部材内部のすき間は5mm以上あけてください。止水性を保つため、隅角部では捨てシーリングを開口部コーナーパッキンまですき間なく充てんしてください。
- ・ 開口部下に施工する本体1枚ごとに、かん合部シーリングを施工してください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・ワンタッチコーナーキャップ15-25



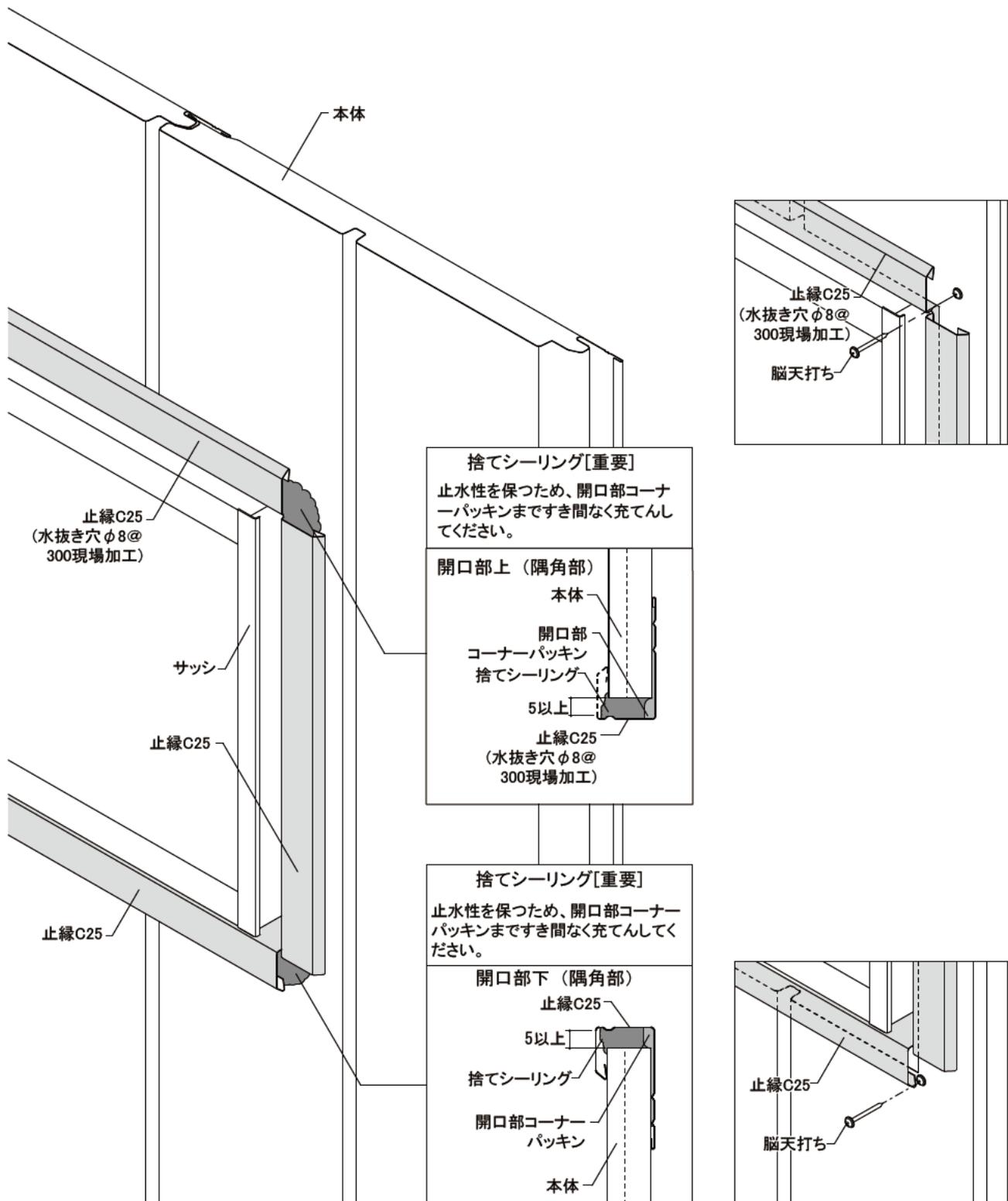
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

I. 開口部（1）

- ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてから、ワンタッチコーナーキャップ15-25を施工してください。
- ・本体の施工後、隅角部には捨てシーリングを開口部コーナーパッキン材まですき間なく入れてください。

使用部材：止縁C25・捨て板(15×85)・ワンタッチコーナーキャップ15-25



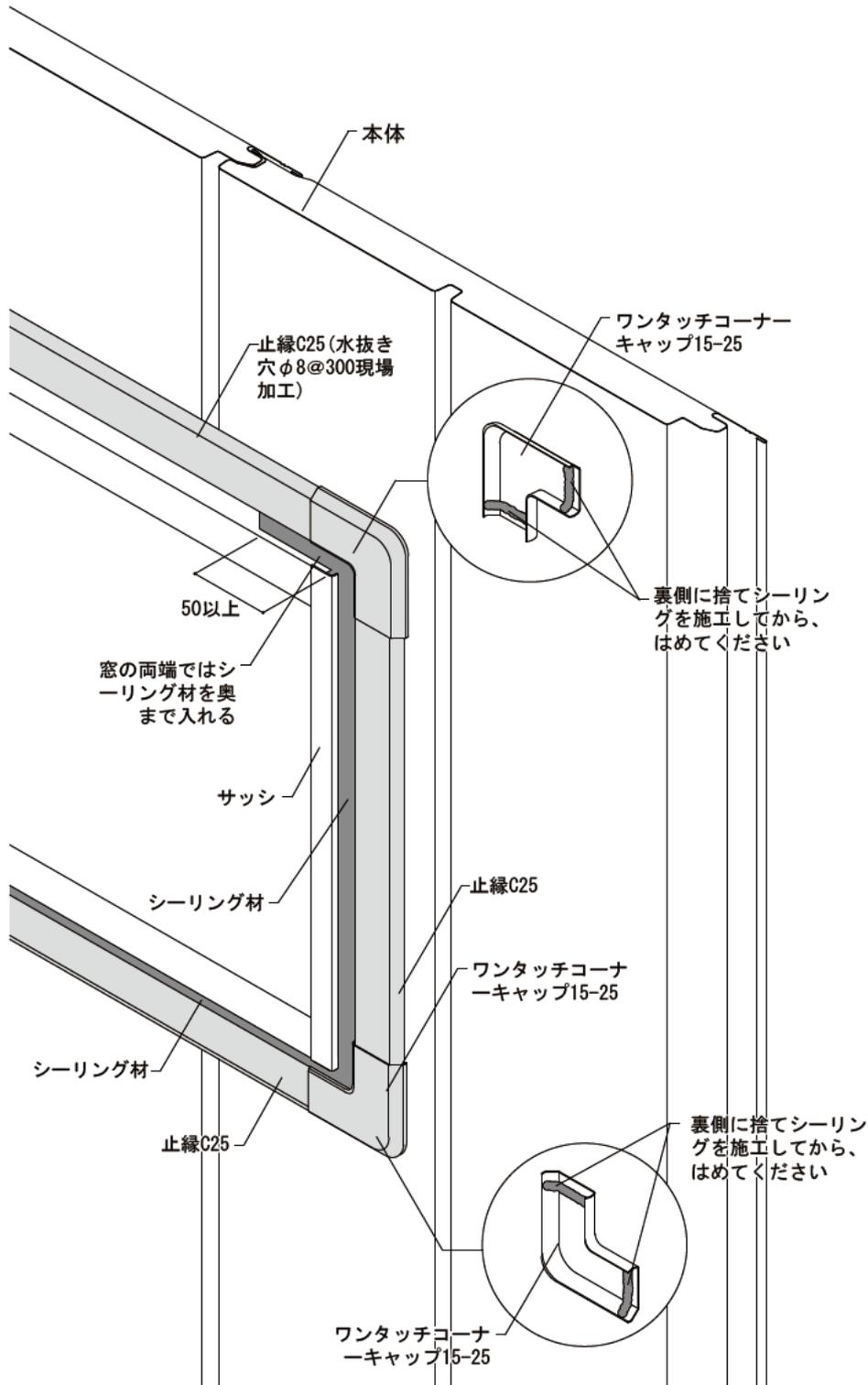
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

I. 開口部（1）

- ・ワンタッチコーナーキャップ15-25は、裏側に捨てシーリングを施工してからはめてください。
- ・開口部上では、止縁C25の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング材を奥まで入れてください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)・ワンタッチコーナーキャップ15-25



8-3. 各部位の納まり図

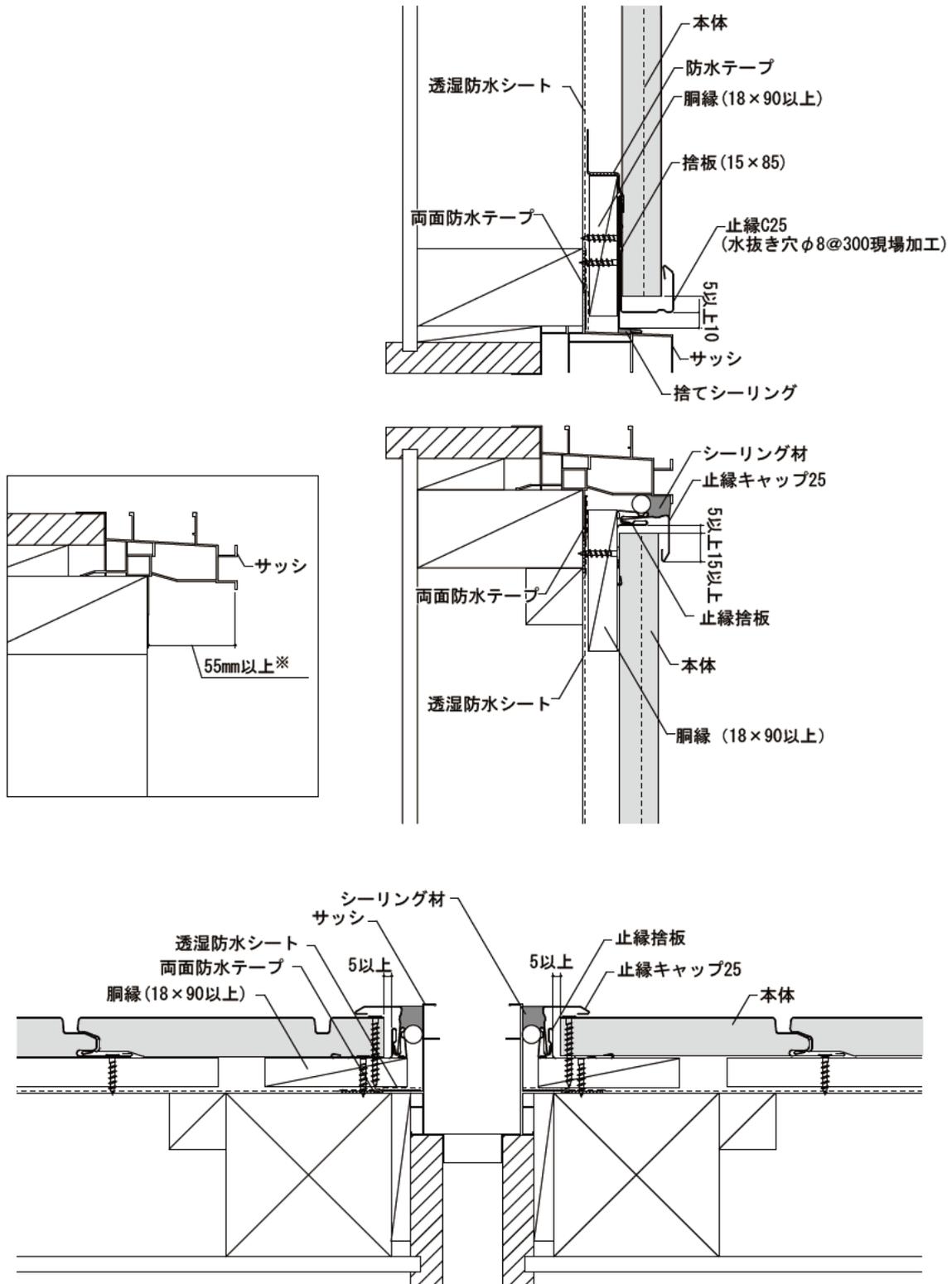
単位：mm

I. 開口部 (2)

- ・ 止縁C25をサッシ上部に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。
- ・ 本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。

※ 下地表面からサッシの出幅が55mm以上の場合に、施工できます。

使用部材：止縁C25・止縁キャップ25・止縁捨板・捨板(15×85)・ワンタッチコーナーキャップ15-25



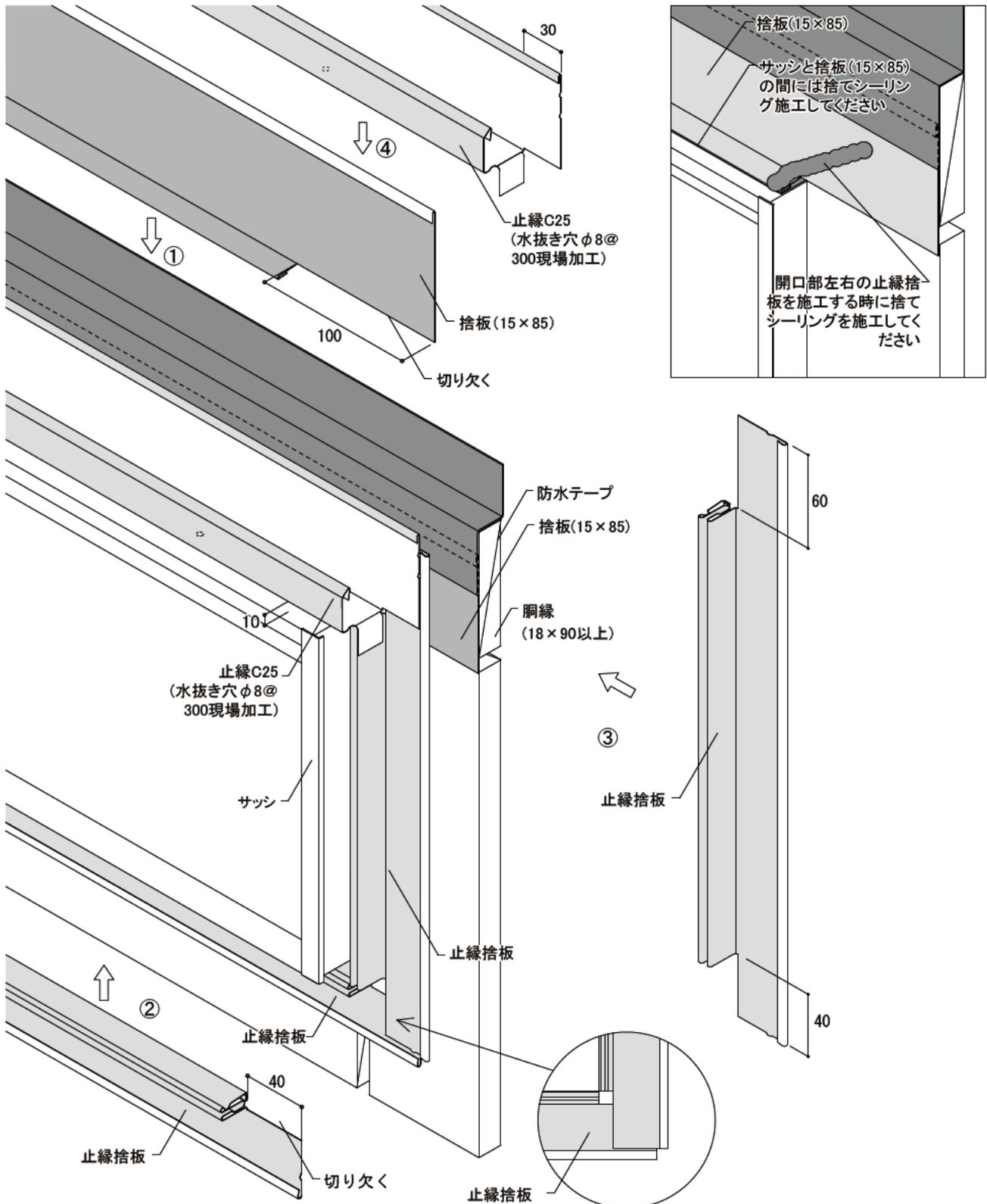
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

I. 開口部 (2)

- ① サッシ上に捨板(15×85)を取り付けて、その上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② サッシ下に止縁捨板を取り付けてください。
- ③ サッシ左右に止縁捨板を取り付けてください。
- ④ 捨板(15×85)に捨てシーリングを施工後、サッシ上に止縁C25を取り付けてください。

使用部材：止縁C25・止縁キャップ25・止縁捨板・捨板(15×85)・ワンタッチコーナーキャップ15-25



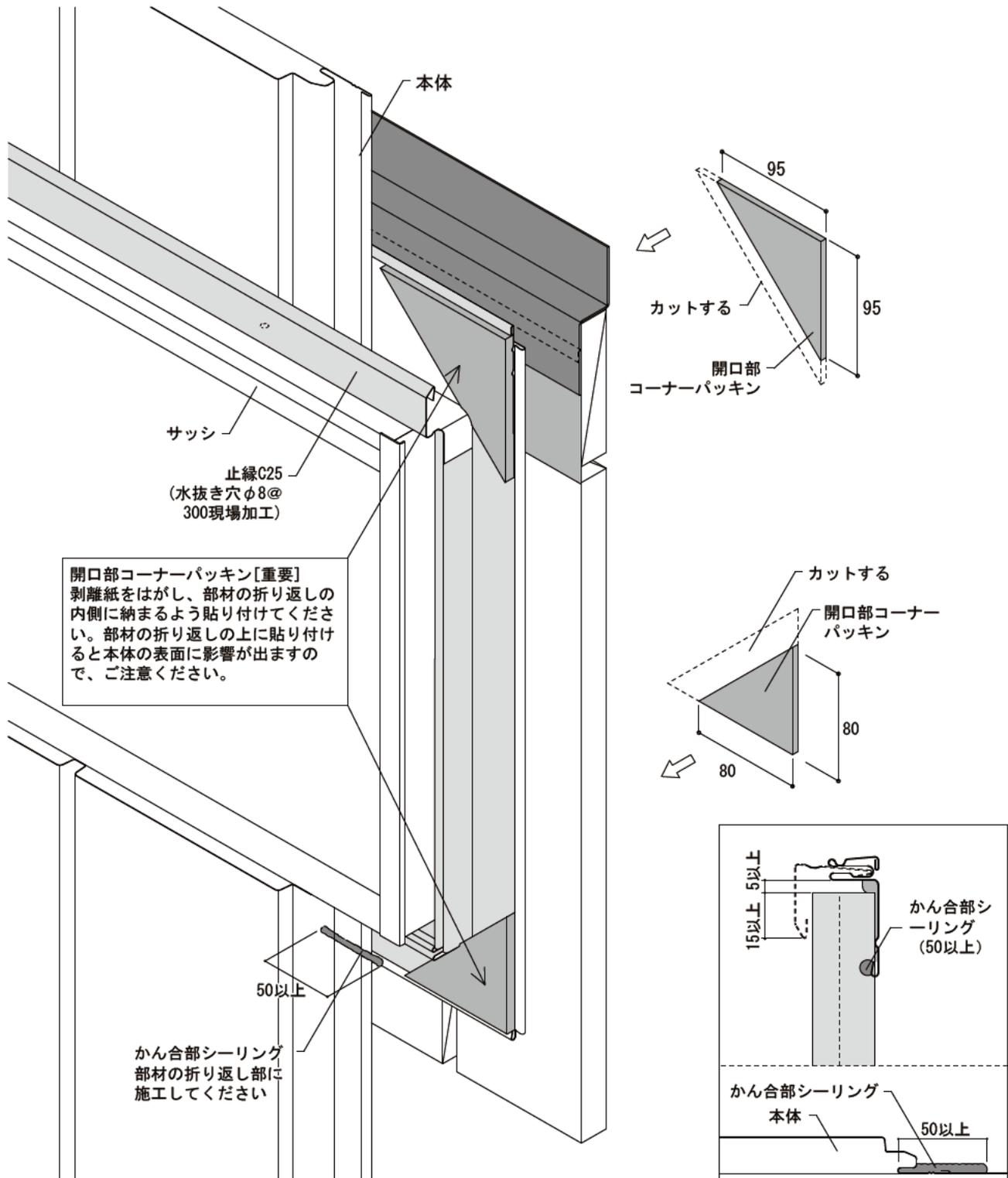
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

1. 開口部（2）

- ・ 施工する箇所に合わせて、開口部コーナーパッキンをカットしてから隅角部（四隅）に施工してください。開口部コーナーパッキンは、止縁C25または止縁捨板の折り返し部分の内側の端部に合わせて、すき間なく貼り付けて施工してください。
- ・ 部材の折り返し部分の上に、開口部コーナーパッキンを貼り付けると本体施工後の意匠と水密性能が低下するおそれがあります。
- ・ 開口部下の本体と止縁C25のかかり代を15mm以上としてください。
- ・ 本体端部と部材内部のすき間は5mm以上あけてください。止水性を保つため、隅角部では捨てシーリングを開口部コーナーパッキンまですき間なく充てんしてください。
- ・ 開口部下に施工する本体1枚ごとに、かん合部シーリングを施工してください。

使用部材：止縁C25・止縁キャップ25・止縁捨板・捨板(15×85)・ワンタッチコーナーキャップ15-25



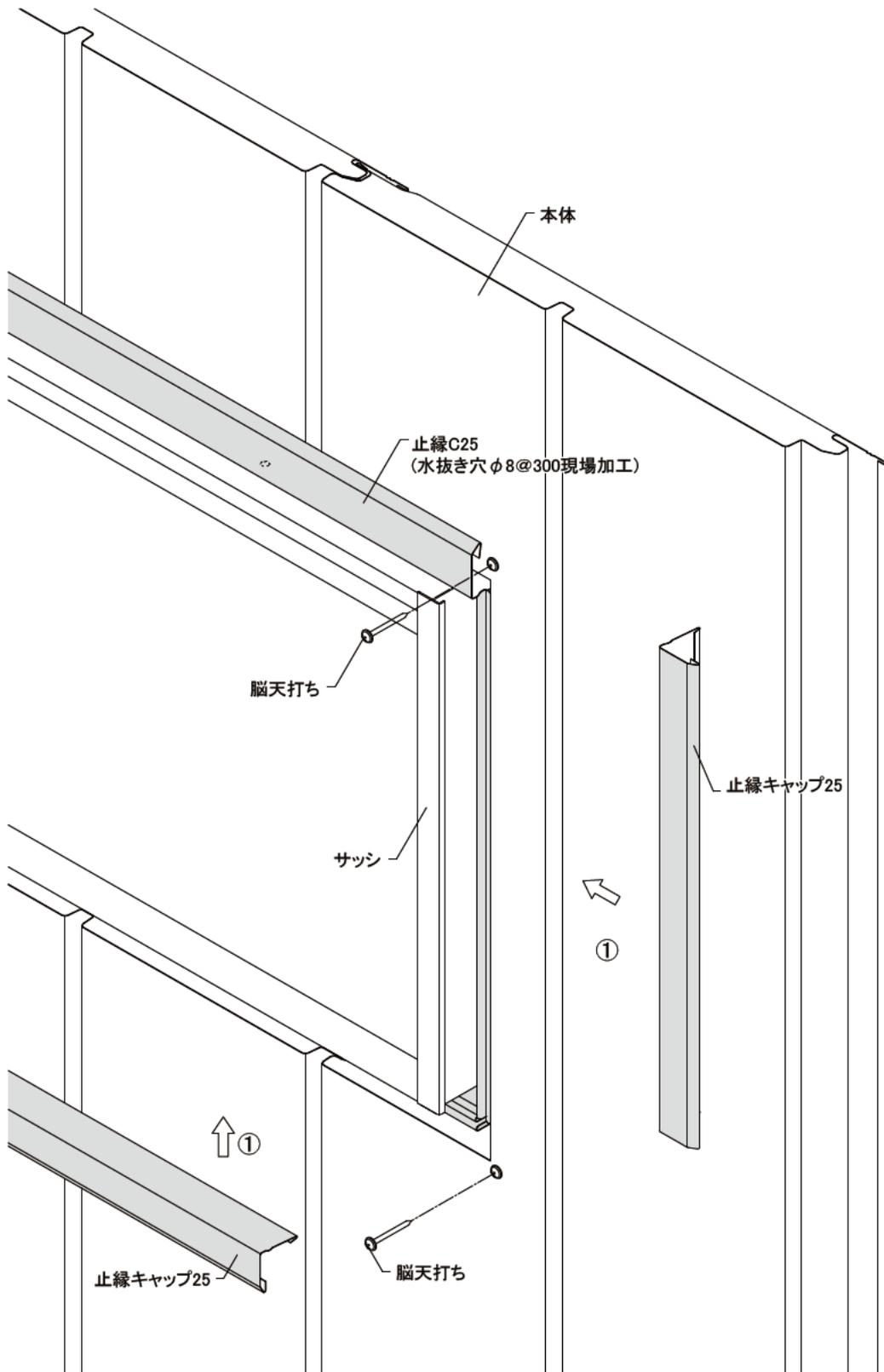
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

1. 開口部（2）

- ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に胴縁へ留め付けてください。
- ・止縁キャップ25を施工してください。

使用部材：止縁C25・止縁キャップ25・止縁捨板・捨板(15×85)・ワンタッチコーナーキャップ15-25



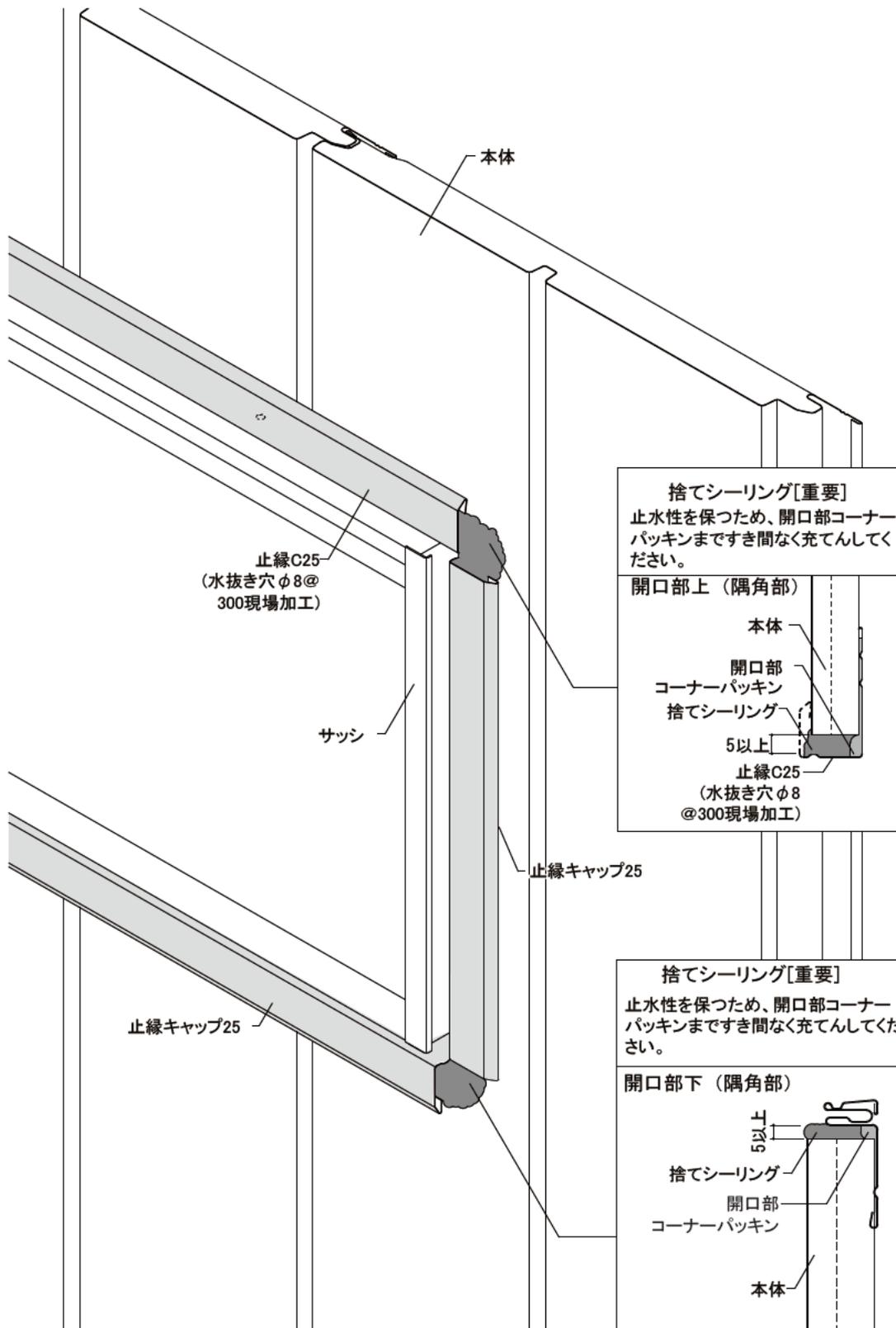
8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

I. 開口部（2）

- ・止縁キャップ25の施工後、隅角部には捨てシーリングを開口部コーナーパッキンまですき間なく入れてください。
- ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：止縁C25・止縁キャップ25・止縁捨板・捨板(15×85)・ワンタッチコーナーキャップ15-25



8-3. 各部位の納まり図

単位：mm

I. 開口部（2）

- ・開口部上のサッシと止縁C25の間は、50mm以上シーリング材を奥まで施工してください。
- ・サッシと止縁キャップ25の間は、シーリング材を施工してください。
- ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてから、ワンタッチコーナーキャップ15-25を施工してください。

使用部材：止縁C25・止縁キャップ25・止縁捨板・捨板(15×85)・ワンタッチコーナーキャップ15-25

